

令和7年度

第七次青梅市生涯学習推進計画

進捗状況報告書

(令和6年度分事業)

青梅市生涯学習推進本部

はじめに

青梅市（以下「本市」という。）では、生涯学習施策を計画的に推進するため、令和6年度を初年度とする「第七次青梅市生涯学習推進計画」を策定し、様々な施策に取り組んでいます。

この報告書は、「第七次青梅市生涯学習推進計画」の進捗状況について年次報告として作成したものです。

生涯学習の理念である、市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現に向けて、計画の総合的かつ横断的な推進を図ります。

令和7年7月

目 次

第 1 章

I 計画の概要	5
II 施策の展開	8

第 2 章

計画の進捗状況調査報告書	15
1 生涯学習の基礎づくり	17
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実	17
(2) 小・中学校教育の充実	18
(3) 家庭・学校・地域の連携	20
2 ニーズに応じた生涯学習の場と機会の拡充	23
(1) 施設の整備と有効活用	23
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	23
(3) とともに生きるための学習機会の充実	28
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	30
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	33
3 自主活動の支援 知の循環型社会の構築	35
(1) 地域コミュニティ活動への支援	35
(2) 地域人材の育成と活用	37
4 学習情報発信と学習相談の充実	40
(1) 学習情報の発信	40
(2) 学習相談の整備	41
5 生涯学習推進体制の確立	42
(1) 推進体制づくり	42
(2) 支援体制づくり	42

第 1 章

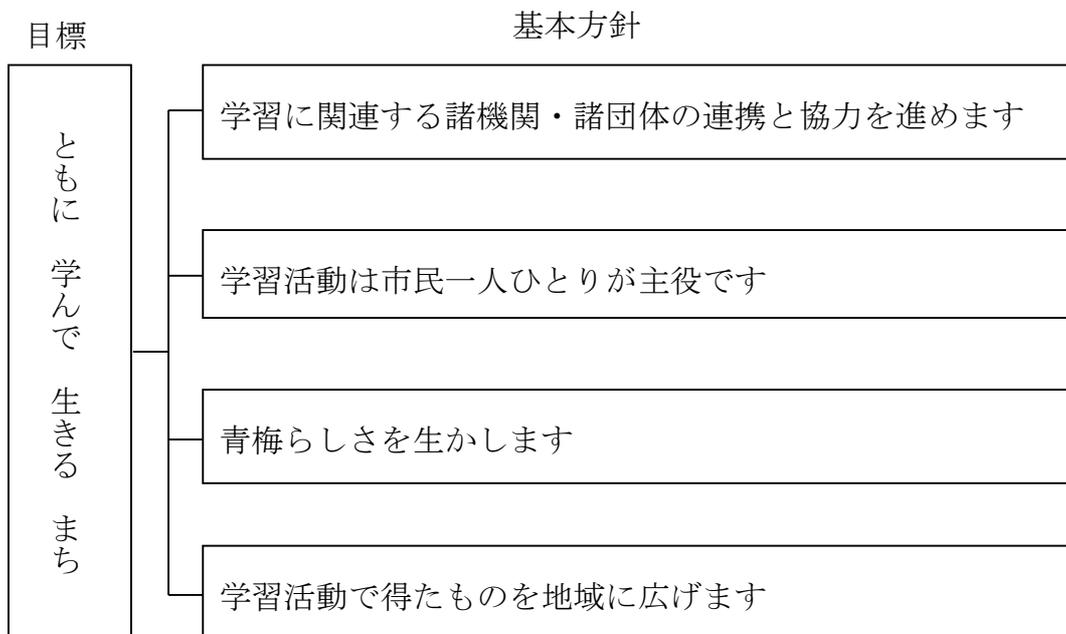
I 計画の概要

II 施策の展開

I 計画の概要

第七次青梅市生涯学習推進計画

1 生涯学習推進の目標と基本方針



市民が生涯を通じ、主体的に学習機会を選択して学び、その成果を社会に生かしていくことができる「ともにとともに学んで生きるまち」の実現を目指し、いつでも、どこでも、誰でもが学び、楽しみ、その成果が豊かな地域づくりに反映される生涯学習の推進を図ります。

また、学習成果の総合的な発表の場や生涯学習の基盤となる施設の整備を図ります。

2 計画策定の趣旨

本市では、市民一人ひとりが生涯を通じて地域社会の中でともに学び・ともに教え合いながら、生きがいのある充実した生活を送ることができるような「生涯学習社会」を築くために、第七次青梅市生涯学習推進計画（以下「第七次計画」という。）を策定します。「ともにとともに学んで生きるまち」を目指して、本市と市民のパートナーシップをもとにした生涯学習のまちをつくるために、本市が実施している生涯学習関連の諸事業を体系化するとともに、市内生涯学習関係機関団体、地域住民との連携・協働により、諸施策の効果的な展開を図っていきます。

3 計画の期間

令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までの5年間とします。

この推進計画は、第七次青梅市総合長期計画（令和5（2023）年度から令和14（2032）年度まで）を上位計画とし、他の部門別計画とも整合性を図っていきます。

4 計画の指針

本市における生涯学習に関する施策の総合的・効果的な推進を図り、生涯学習に関する既存施策を総合的な観点から体系化するとともに、将来において展開する必要がある施策の考え方を示します。

5 計画の範囲

- (1) 生涯学習社会の形成に向けての行政の役割を明記するものですが、計画の推進に当たっては、生涯学習に関連する各種団体・機関等と連携を図りながら推進します。
- (2) 対象となるのは、教育、文化、スポーツのほか、趣味やレクリエーション、福祉、保健衛生、防災、まちづくり等、行政や各種団体・機関等で行う幅広い分野の学習事業とします。

6 生涯学習とは

生涯学習とは、市民一人ひとりが生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所において主体的に行う学習活動の総称です。すなわち、学校教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味等様々な場や機会において行う学習の意味で用いられ、学習の形態についても、個人学習や、公共機関等が行う講座・講演会、民間教育機関が行う講座、通信教育、企業や職業訓練施設等で行われる学習、グループ・サークル・団体活動の中で行われる学習など、多岐にわたります。

生涯にわたって学ぶという事は、ライフスタイルやビジネスを充実させるための知識学習、職業教育だけでなく、生きがいや心の豊かさに結びつきます。また、学習する向上心が地域の活性化をもたらし、学習活動を通してこそ、よりよい人間関係が生まれ、豊かで住みよい地域が実現されます。学習した人々が地域の担い手として地域づくりに参加し、学習の成果をまちづくりに活かしていくことが期待されています。

また、教育基本法では、「生涯学習の理念」という項目があり、「誰もが生

涯のあらゆる場面で学習し、かつ学習した成果を生かすことができる社会」
を実現しようという姿勢が明確に打ち出されています。

— スローガン —

「ともに学んでいきるまち」をめざして

O 応援します お互いに

M 学んで 教えて

E エンjoyします

みんなで 楽しむ 生涯学習

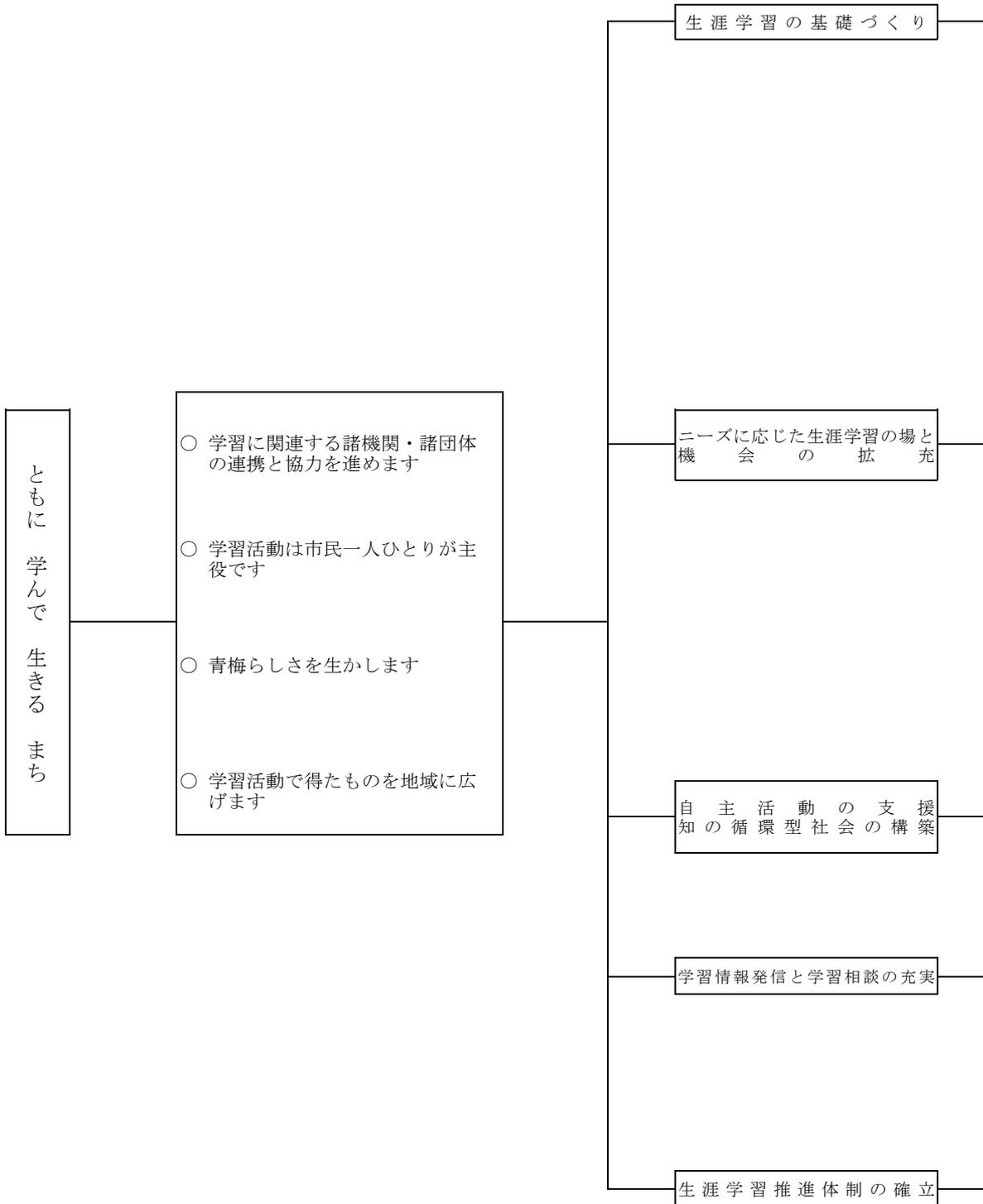
II 施策の展開

1 計画の体系

(目標)

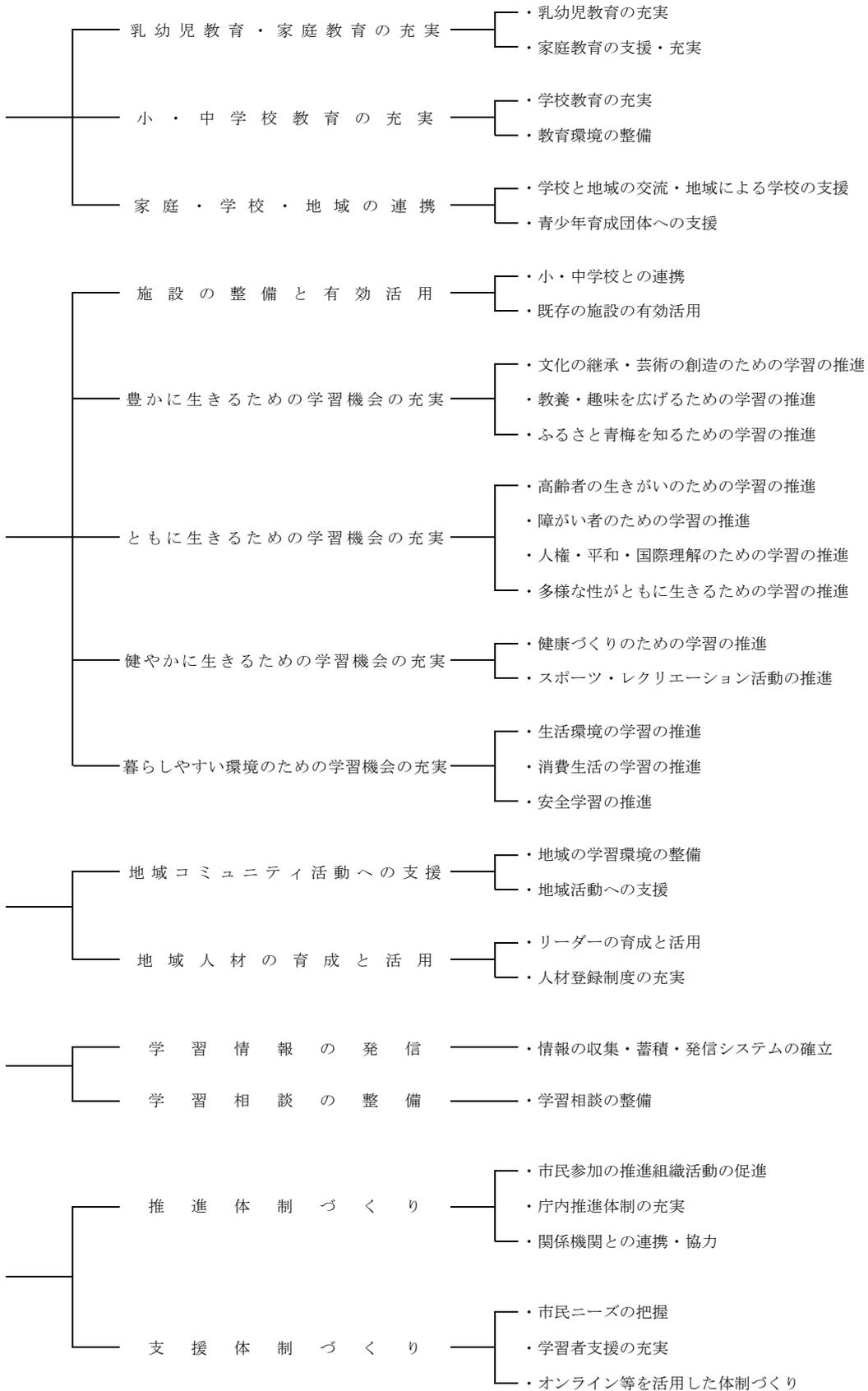
(基本方針)

(基本的施策)



(主な施策の方向)

(施策の内容)



2 基本的施策

- 1 生涯学習の基礎づくり
- 2 ニーズに応じた生涯学習の場と機会の拡充
- 3 自主活動の支援 知の循環型社会の構築
- 4 学習情報発信と学習相談の充実
- 5 生涯学習推進体制の確立

1 生涯学習の基礎づくり

基本的な考え方

生涯にわたり自らが考え、創造性豊かな充実した人生を送るためには、人間形成の基礎をつくる子どもの時期に、基本的な学力や自らを成長させようという意欲、生きる力、社会生活の基本的ルールなどを身につけることが大事です。個性豊かな子どもの健全な成長を願い、家庭・学校・地域が連携して子育て支援・教育の充実を図り、地域社会全体で行われるような環境を目指します。

子どもを取り巻く学習環境を見ると、少子化・核家族化の進展と同時に、家庭教育力・地域教育力の低下が叫ばれています。また、いじめ、不登校等、様々な問題が子ども達に重圧をかけてきています。このようなことから、各保育園で行っている子育て支援事業との連携や、小・中学校との連携を含めた子育て相談、家庭教育の機会の提供など、家庭教育への支援や地域での青少年関係団体活動への支援などを通して「生涯学習の基礎づくり」に努めます。

「主な施策の方向」

- (1) 乳幼児教育・家庭教育支援の充実
- (2) 小・中学校教育の充実
- (3) 家庭・学校・地域の連携

2 ニーズに応じた生涯学習の場と機会の拡充

基本的な考え方

市民が自主的に生涯にわたって学習し、健康で豊かな生活を送ることができるよう、市民一人ひとりがその能力や個性を伸ばし、「いつでも・どこでも・誰でも」学べるよう、学習の場と機会の拡充に努めます。本市は、市民が持っている知識や経験を生かせるよう、調整の役割を果たし、ニーズに応じた特色ある学習内容を充実させていきます。

また、地域の環境・風土など様々な特性に調和させながら、それらにもとづく市民一人ひとりが感じる青梅らしさを生かし、地域における生涯学習の場を創出します。

「主な施策の方向」

- (1) 施設の整備と有効活用
- (2) 豊かに生きるための学習機会の充実
- (3) とともに生きるための学習機会の充実
- (4) 健やかに生きるための学習機会の充実
- (5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実

3 自主活動の支援 知の循環型社会の構築

基本的な考え方

地域づくり・まちづくりは市民の着実な活動から始まります。団体・サークル等の自主活動を通じて、仲間とのふれあいが生まれ、人々との関係が豊かになり、お互いに学び合い、教え合うような人間関係が形成されます。自主的な地域団体・生涯学習サークルの活動が活発になるよう応援するため、団体等の自主性を基本として、活動の場の提供や支援をしていきます。

また、生涯学習は本来行う事自体が楽しいものですが、学習の成果を地域社会に生かすことは、学習者にとって自己の成長を確認できるなど、大きな意味も持ちます。生涯学習を通じて得た学習の成果を、地域やボランティア活動に生かし、誰もが学び、また伝えることのできる、知の循環型社会の構築を図ります。

「主な施策の方向」

- (1) 地域コミュニティ活動への支援
- (2) 地域人材の育成と活用

4 学習情報発信と学習相談の充実

基本的な考え方

市民一人ひとりの学びの意思・意欲を大切にするとともに、学習活動が活発に行われるためには、生涯学習情報を「いつでも・どこでも・誰でも」入手できることが求められています。

このことから、広報等の印刷物による学習や機会の場・方法などに関する情報をはじめ、本市のホームページやSNS等様々な媒体を利用して情報を提供し、生涯学習に関する情報を発信することで、市民の生涯学習を支援します。

「主な施策の方向」

- (1) 学習情報の発信
- (2) 学習相談の整備

5 生涯学習推進体制の確立

基本的な考え方

本市における生涯学習関連事業は、教育行政だけでなく、一般行政においても活発に行われています。市民の自主的な学習活動を効果的に支援していくために、現在各事業の担当課で独自に企画・実施されている生涯学習事業を、それぞれの事業の目的を大切にしながら、市民の生涯学習の推進という視点から捉え直し、「生涯学習推進本部」や「総合教育会議」などを通じて情報を共有し、相互に連携・協力関係を築いていくことが大切です。

合わせて、各課の連携・協力関係を築くことで、類似の事業が重複して実施されることを避け、バランスよく効率的に事業を実施していくことができます。

さらに、学習の主体である市民の意見を生涯学習の推進施策に反映させていくことが大切であり、市民の意見にもとづく講座を実施する等、

施策の充実を図ります。

また、本市と市民が協力しながら施策を進めていくための情報交換や意見交換の場が必要です。このことから、本市の推進組織である青梅市生涯学習推進本部と、学識経験者や生涯学習関係団体の代表者からなる青梅市生涯学習推進市民会議の連携・協力関係を推進し、生涯学習推進体制の充実を図ります。

「主な施策の方向」

- (1) 推進体制づくり
- (2) 支援体制づくり

第2章

計画の進捗状況調査報告書

計画の進捗状況調査報告書

調査内容 事業内容と進捗状況

1 令和6年度取組状況

2 担当課評価

評価記号	評 価	評 価 基 準
◎	順調である	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的で優れた取組を行った ・ 大きな成果を上げた ・ 課題や問題点は一つもない
○	おおむね順調である	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な取組を行った ・ 一定の成果を上げた ・ 大きな課題や問題点はない
△	一部困難な課題がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組を行った ・ 多少の成果を上げた ・ 課題や問題点がある
×	困難な課題がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組を行わなかった ・ 取組を行ったが成果は上がらなかった ・ 大きな課題が残った
—	事業終了 隔年実施 中止	

事業計画	事業数	◎	○	△	×	－
1 生涯学習の基礎づくり	31	1	34	0	0	2
(1)乳幼児教育・家庭教育の充実	8	1	8	0	0	0
(2)小・中学校教育の充実	13	0	13	0	0	1
(3)家庭・学校・地域の連携	10	0	13	0	0	1
2 ニーズに応じた生涯学習の場と 機会の拡充	80	0	77	3	0	2
(1)施設の整備と有効活用	1	0	2	0	0	0
(2)豊かに生きるための学習機会 の充実	28	0	25	1	0	2
(3)ともに生きるための学習機会 の充実	19	0	17	2	0	0
(4)健やかに生きるための学習機 会の充実	16	0	17	0	0	0
(5)暮らしやすい環境のための学 習機会の充実	16	0	16	0	0	0
3 自主活動の支援 知の循環型社会の構築	26	1	24	0	0	1
(1)地域コミュニティ活動への支 援	11	1	10	0	0	0
(2)地域人材の育成と活用	15	0	14	0	0	1
4 学習情報発信と学習相談の充実	12	0	12	0	0	0
(1)学習情報の発信	11	0	11	0	0	0
(2)学習相談の整備	1	0	1	0	0	0
5 生涯学習推進体制の確立	6	0	6	0	0	0
(1)推進体制づくり	2	0	2	0	0	0
(2)支援体制づくり	4	0	4	0	0	0
合 計	155	2	153	3	0	5
割 合 (%)	100	1.2	93.9	1.8	0.0	3.1

1 「生涯学習の基礎づくり」

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課評価	担当部署等
(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実	1	子育てひろば事業	親子の遊びの場と交流の場を提供し、子育てに関すること等日常的で身近な問題について、保護者・子どもから相談を受け、話し相手になります。また、啓発事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センター、東青梅市民センター内「おひさま広場」、河辺市民センター内「トイトイトイ」、文化交流センター内「にこにこ」、下長瀬自治会館「とことこ」の他、13保育所で実施した。 身近な地域に子育て中の親子が参加できるふれあいの場を提供した。 育児講座を開催。 親子参加行事を開催。 相談業務を行った。 	○	子育て応援課
	2	子育て支援事業	市民センター等において、子育てと子どもの健全な成長を支援する場を提供するとともに、講座等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 市内の市民センターで事業を実施した。 手遊び型の事業では和室や会議室などで、絵本や積み木などを使った遊びを行った。 体育型では体育館でボールや縄跳びなどを使った遊びを行った。 実施回数 252回 延べ参加人数 2,259人 同年齢の乳幼児とその保護者へ、子育て支援講座「親子スキンシップ教室」と体験型イベント「あつまれ！0・1・2・3ちびっこ☆ランド」を実施した。 延参加者数 1,171人 	○	子育て応援課
	3	プレマクラス (母親・両親) 学級	初産の妊婦とその夫を対象に安心して出産・子育ての準備ができるように学び、親となる心構えを伝え、妊娠中の不安を解消します。	<p>プレマクラス 年6回 延べ参加者数 137人 両親学級 (平日) 5回 62人 両親学級 (土曜日) 5回 92人</p> <p>次年度目標：両親学級では、妊娠・出産、育児への理解を深め、父親になるための自覚を促し、夫婦で協力して取り組んでいくために必要な知識を提供し、育児力の向上と育児不安の解消を図る。また、夫婦で妊娠中の悩みや不安を共有しお互いがサポートできるようになることを目的とする。</p>	○	こども家庭センター
	4	乳幼児健康相談	健康・栄養・歯科および育児に不安がある乳幼児に対し、小児科医師等が専門的な立場から適切な指導助言を行い、保護者の育児を支援します。	<p>乳幼児健康相談 年12回 相談件数 201件 経過観察健康診査 年12回 相談件数 138件</p> <p>次年度の目標：母親の育児に対する不安に寄り添い、助言指導を行う。また、心配な妊産婦に対しては、継続的な支援を行う。</p>	○	こども家庭センター
	5	ブックスタート事業	乳幼児健診時において、希望する保護者に対し、絵本の読み聞かせ等の相談とブックスタート・リーフレットの配布を実施します。	<p>おおむね生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ機会を提供する「こんにちは赤ちゃん」事業で、ブックスタート事業による絵本を配布した。</p> <p>対象件数 515件 絵本配布数 504件</p> <p>次年度の目標：生後4か月までの赤ちゃんを全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」で、絵本とブックスタート・リーフレットを配布した。引き続き絵本を介して保護者と乳児が触れ合うきっかけを作っていく。</p>	○	こども家庭センター
			乳幼児健診時において、希望する保護者に対し、絵本の読み聞かせ等の相談とブックスタート・リーフレットの配布を実施します。	<p>子ども家庭センターとの共催で、乳幼児に対する絵本の配布と、4月3日～3月19日までの延べ18回、乳幼児健診時において、絵本の紹介とブックスタート・リーフレット「あかちゃんといっしょに」の配布を行った。中央図書館で行う乳幼児向けおはなし会の案内も行った。 延べ参加人数 830人</p>	○	社会教育課
	6	家庭教育学級	乳幼児から高校生を持つ親を対象に、家庭教育に関する様々なテーマを選定し、開催します。	<p>ババママカレッジ～家庭教育講演会～</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 イライラしても大丈夫！アンガーマネジメントでイキイキ子育て 実施日 7月14日 参加人数 50人 第2回 発達障害の子とハッピーに暮らすヒント 実施日 9月23日 参加人数 43人 第3回 多様性とジェンダー平等を基盤にした包括的性教育～“子どもの権利” “からだの権利”を実現する乳幼児期からの学び～ 実施日 2月2日 参加人数 27人 <p>今後も共通の目的を持った仲間と出会うの場に集まる対面形式と気軽に参加できるオンライン形式やアーカイブ配信を活用し、それぞれの特性を活かした講演会を開催することで参加者を増やしていきたい。また、アンケートなどからニーズに添った内容で講師を選定し開催したい。</p>	◎	社会教育課
	7	おはなし会	絵本の読み聞かせやおはなしの語りなどを行います。	<p>4月6日から3月23日まで延べ164回、中央図書館・市民センター・小学校でおはなし会を実施した。</p> <p>延べ参加人数3,217人</p> <p>7年度は、各事業を継続するとともに、内容の充実を図る。</p>	○	社会教育課
8	子ども読書活動推進事業講演会	子どもの読書活動を推進するための講演会などを実施します。	<p>子ども読書活動推進事業講演会「濱野京子氏講演会」</p> <p>11月16日 参加人数39人</p> <p>7年度は、講演会事業を継続し、子どもの読書活動への理解を啓発する。</p>	○	社会教育課	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(2) 小・中学校教育の充実	9	特別支援学級の運営	児童・生徒の障害に応じたきめ細かな教育を実施していくため、教育環境の整備を図ります。特別支援学級設置校に介護員を配置します。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育環境の整備 学習支援、課題改善のための教材などの備品を購入し教育環境の整備を図った。引き続き必要な備品等を購入していく。 ・介護員の配置 特別支援学級（固定学級）において、児童・生徒の学校生活および学習活動の補助ならびに教員の教育活動を支援するために、児童・生徒数に合わせ配置した（小学校37人、中学校23人）。次年度も児童・生徒数に合わせ適正に配置していく。 	○	学務課
	10	教育支援センターの充実	1 ふれあい学級 不登校児童・生徒に対し、生活習慣の確立および学習等の援助を行い、在籍校への復帰および社会的自立を支援します。 2 外国人児童・生徒学級 外国人児童・生徒および帰国児童・生徒に対し、日本語の指導を行い、安心して学校生活が送れるよう援助します。	1 教育支援センター（ふれあい学級） 在籍校との連携を図りながら不安や悩みについての教育相談や習熟の程度に応じた学習指導を行うとともに、施設見学や調理実習（校外学習）を各1回実施した。 2 外国人児童・生徒学級 在籍校において、児童9人に対し通訳等の支援を週2回の指導を実施した。 外国人児童・生徒学級において、8名に対して指導した。	○	指導室
	11	情報教育の推進	児童・生徒の情報活用能力を育成し、確かな学力の向上を図るために、教科指導におけるICTの活用を推進します。	ICT支援員を配置し、ICTを活用した授業の推進を図った。 情報教育推進委員会を年間3回開催し、授業におけるICTの活用方法について情報交換を行った。また、市指定のICT教育推進校の取組成果の発表・情報共有等を行った。	○	指導室
	12	芸術・技術教育の支援	「小学校造形作品展」、「中学校美術作品展」、「中学校技術・家庭科作品展」を開催し、児童・生徒の豊かな心身の陶冶や芸術・技術能力の向上を図るとともに、広く市民に教科への理解を得ます。	児童・生徒が授業で制作した作品を、小学校はS&Dたまぐーセンター、中学校は青梅市立中央図書館を会場に、期間を限定して展示を行った。開催期間中は、広く一般に公開した。	○	指導室
	13	教員研修	教員の資質や能力の向上を図るため、職層や教職経験に応じた研修、専門的研修を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・校長研修 1回 ・副校長研修 1回 ・教務主任会 3回 ・生活指導主任会 11回 ・若手教員育成研修1年次 10回 ・若手教員育成研修1年次・1日研修1回 ・若手教員育成研修2年次 3回 ・若手教員育成研修3年次 3回 ・中学校進路指導主任会 2回 ・新任主幹教諭研修 1回 ・人権教育研修 4回 ・学校教育相談研修 1回 ・情報セキュリティ研修（未受講者対象研修）1回 ・情報セキュリティ研修（管理職等対象研修）1回 ・特別支援教育理解研修 1回 ・教育経営研修 1回 ・情報教育推進委員会 2回 ・水泳指導研修 1回 ・教育課題研修 2回 ・中堅教諭等資質向上研修I 8回 ・特別支援教育コーディネーター研修 1回 ・外国語教育担当者連絡会 2回 ・柔道（武道）研修 1回 	○	指導室
	14	教育研究支援	教育課題の解決、教科指導法の改善等の研究を支援し、より良い学校教育を目指します。 ・研究指定校、教育研究会、校内研修に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校等への支援 小・中学校合わせて5校の研究を支援した。 ・教育研究会への支援 ・校内研修に対する支援 	○	指導室
15	教科指導等の充実	1 新学力向上5カ年計画にもとづき、「継続、定着、追究」をキーワードに、指導の充実を図ります。 2 「青梅市いじめ防止マニュアル」およびいじめ問題対策委員会調査部会からの提言にもとづき、いじめの根絶に向け、人権教育・道徳教育を充実します。 3 外国人英語指導助手（AET）を活用するとともに、TOKYO GLOBAL GATEWAY（TGG）の施設を体験するなど、小・中学校の英語教育、国際理解教育を推進します。 4 地域社会・地域環境の理解を深め、社会の一員としての自覚を育てます。また、御岳山への移動教室等「青梅学」を推進します。 5 児童・生徒の学力向上を図るため、放課後の補習事業や中学校3年生を対象とした受験対策事業を実施し、学習支援の充実を図ります。	学力向上推進委員会にて、学力向上5カ年計画について協議し、「継続」「定着」「追究」というキーワードのもと、進捗状況や取組状況等について協議した。 各校の学力向上推進プランの実現に向けて、授業改善を図るための方策について協議した。 人権教育推進委員会を年5回・道徳教育推進委員会を年3回実施し、人権教育・道徳教育の推進に努めた。人権教育推進校の発表について、市内全小中学校で共有した。 年2回外国語教育担当者連絡会を開催し、小中学校間の連携や授業改善について協議した。 青梅学推進委員会を開催し、地域の人材や地域の環境について理解を深めるための取組について協議・研修を行った。 中学3年生向け高校受験対策事業「スタディ・アシスト」を民間業者に委託して実施した。	○	指導室	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課評価	担当部署等
(2) 小・中学校教育の充実	16	進路指導の充実	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、自分の意志と責任で進路を選択決定する能力・態度を育てます。	キャリアパスポートを作成し、総合的な学習の時間等を活用して、児童・生徒が自己の将来について考える機会を設定した。また、中学校では、第2学年で職場体験学習や職業講話を実施した。	○	指導室
	17	生徒指導の充実	豊かな人間性と社会性を育成するために、児童・生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識を高め、公共心をはぐくみます。	生活指導主任会（小・中学校合同）を年間5回実施し、情報交換や連携を深めるとともに、第3回には講師を招聘し、生活指導への理解を深めた。 中学校生活指導主任連絡協議会を年間6回実施し、警察や登校支援室等関係機関との情報交換や連携について協議した。	○	指導室
	18	教育相談機関の充実	スクールソーシャルワーカーおよび心理相談員の派遣などにより、青梅市公立学校相談室と教育相談所等の連携を図ります。	3 9月に学校教育相談推進協議会を開催し、教育相談所相談員と学校の教育相談担当との連携を図った。	○	指導室
			教育相談所 幼児・児童・生徒や保護者から、学校生活や家庭における問題、悩みについて相談に応じ、援助・助言を行います。	1 教育相談所 いじめ問題対策、要保護児童対策等の会議に教育相談所の職員が委員として出席し、連携を図った。 ・相談所における来所相談件数は年間687件で電話相談は34件。面談は、保護者3,202回、子供1,442回で合計4,644回行った。相談内容が複雑化、困難化しているが、適切に対応した。引き続き、保護者のニーズに寄り添った対応を行う。 2 青少年相談 相談内容を確認し、東京都教育相談センター等、関係諸機関に繋いだ。	○	学務課
	19	学校防災訓練	小曾木市民センター主催の避難所開設訓練に生徒全員が参加することで地域の防災に対する意識を高めるとともに地域の一員としての自覚や社会参画意識を高めます。	当日は台風接近のため中止となりましたが、生徒が主体的に取り組み地域に貢献できるよう、従来の活動を見直しました。	-	青梅市立第六中学校
	20	地域防災訓練への参加	生徒の自主的なボランティア活動の一環として自治会が主催する防災総合訓練に参加し、実戦的な防災訓練を行い、防災意識を高めます。合わせて地域の一員として、災害時に支援の補助ができる資質・能力を高めます。	土砂災害対応訓練に主催者のお手伝いのボランティアとして参加し、自然災害体験車による訓練や段ボールベットの組み立てなどに参加し、地域の方々とともに防災意識を高めた。	○	青梅市立新町中学校
21	自治会等が主催する地域のイベント等への参加・準備	生徒の自主的なボランティア活動の一環として自治会等が主催するイベント等および準備に参加し、地域の一員としての自覚を高めます。	地域清掃をはじめ、地域のお祭りにおける自治会のお神輿などの担ぎ手や、ビーチボールバレー大会への生徒の参加など地域の一員として活躍し、意識を高めた。	○	青梅市立新町中学校	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(3) 家庭・学校・地域の連携	22	協働事業の支援	行政と市民活動団体との協働事業を、青梅ボランティア・市民活動センターと連携して支援・推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 青梅ボランティア・市民活動センターは、ボランティア・市民活動団体に関する総合的な相談窓口として、情報の収集および発信、コーディネート等、行政と市民活動団体との協働を推進している。 月1回情報交換会を行い、協働事業や市民活動団体の活動状況等について情報共有した。 市民提案協働事業募集の周知等を青梅ボランティア・市民活動センターからも行うなどの連携を図った。 青梅ボランティア・市民活動センター職員が青梅市協働事業市民推進委員会委員として、協働事業の評価等について協議を行った。 協働の担い手となりうる人材の掘り起こしのため、「ふみだそう！ボランティア活動の第一歩」と題してボランティア活動に興味がある方対象に、青梅ボランティア・市民活動センターと協働で講座を実施した。 青梅ボランティア・市民活動センターが実施した災害ボランティア要請講座・青梅市災害ボランティアセンター設置訓練に協力した。 次年度についても、連携して協働事業の支援を継続する。 (市民活動推進係) 	○	市民活動推進課
	23	青少年対策地区委員会事業への支援	青少年の健全育成を目指して実施する様々な青少年対策事業に支援協力を行います。 「健全育成チラシ」の配付、「健全育成標語看板」の作製などを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 青少年対策事業の事務的支援および会議室の提供、備品の貸出等について支援した。(各市民センター) 青少年健全育成チラシの作成および地区内自治会、子ども会育成会への配布について協力した。(各市民センター) 健全育成標語を提案し、のぼり旗の作製と掲示に協力した。(各市民センター) 青少年対策第二支会委員会によるポッチャ体験会およびポッチャ交流会を開催。(長淵C) 自転車点検会、霞川清掃、第八支会ハイキングおよびポッチャ体験会を実施した。第八支会主催のささえあいフェスティバルに参加し、模擬店の出店により地域の方との交流を深めた。青少年健全育成チラシを作成し、地区内自治会、子ども会育成会に回覧・配布した。(東青梅C) 健全育成標語看板清掃を実施した。(河辺C) 管内小中学校合同のマラソン大会を共催した。(成木) 	○	市民センター
			青少年の健全育成を目指して実施する様々な青少年対策事業に支援協力を行います。 「健全育成チラシ」の配付、「健全育成標語看板」の作製などを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 各地区における青少年の健全育成事業の推進を図るため、青少年対策各地区委員会に対し、補助金を交付した。 補助金交付決定額計：1,800千円 補助金交付確定額計：1,782千円 青少年健全育成チラシを配布した。 地区委員を対象とした視察研修を実施した。 青梅市親子ふれあい事業としてポッチャ大会を開催した。 令和7年度の親子ふれあい事業についても、ポッチャ大会を実施する。 	○	子育て応援課
	24	PTAの活動への支援	会議室の提供、用具・備品等の貸出しなどを行います。 小・中PTAが主催する講演会や研修視察等に対する援助を行い、子どもたちの健全な成長を目指して、親と教師が協力して家庭・学校・地域の教育力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> PTAが主催する会議等に会議室の提供を行った。(大門C) PTAが主催する事業に会議室を提供するなどの支援を実施した。(梅郷C) PTAが主催する会議等に会議室の提供を行った。(今井C) 	○	市民センター
会議室の提供、用具・備品等の貸出しなどを行います。 小・中PTAが主催する講演会や研修視察等に対する援助を行い、子どもたちの健全な成長を目指して、親と教師が協力して家庭・学校・地域の教育力の向上を図ります。			<ul style="list-style-type: none"> 小学校・中学校のPTAへ感謝状の贈呈や総会会場確保などを行い活動を支援した。 引き続き支援可能な範囲での支援を行っていく。 	○	社会教育課	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(3) 家庭・学校・地域の連携	25	青少年委員活動	青少年が地域で健やかに成長できるよう、学校等とも連携し余暇指導、青少年指導者への協力および青少年団体の指導育成を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年委員の協力のもと青少年の指導育成事業としてジュニアリーダー講習会を実施した。(新町C) ・青少年委員の協力のもと、青少年の指導育成事業として、紙飛行機の作成やポッチャ体験を行った。また、三田地区と共同で講演会を開催し子供に伝わりやすいメッセージなどコミュニケーションの方法を講師に講演していただいた。地域の安全を守る会の構成団体として地域のパトロールに参加した。(梅郷C) ・青少年委員の協力のもと青少年の指導育成事業としてジュニアリーダー講習会を実施した。(東青梅C) ・青少年対策第10支会地区委員による、ジャガイモ掘り体験、チョークアート教室、ポッチャ体験会を実施した。(河辺C) ・青少年対策第11支会地区委員によるポッチャ体験会を開催。(今井C) ・青少年対策地区委員会と自治会連合会第11支会の共催による薬物乱用防止の映画ならびに青梅警察署員による講演を実施。(今井C) ・児童・生徒の有志で「ホテルふやしたい実工委員会」を立ち上げ、ホテルの位置や教等の情報を募り、地図におとした「ホテル新聞」を作成し、地域におけるホテルの生息状況を地域の方に報告した。(小曾木C) ・青少年対策第二支会委員会によるポッチャ体験会およびポッチャ交流会を開催。(長淵C) 	○	市民センター
			青少年が地域で健やかに成長できるよう、学校等とも連携し余暇指導、青少年指導者への協力および青少年団体の指導育成を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会12回(毎月第二火曜日) ・青少年リーダー育成研修会への協力自主事業の実施 	○	社会教育課
	26	青少年問題協議会	青少年の健全育成を目指して青少年健全育成基本方針の策定や様々な支援協力を行います。「健全育成チラシ」や「休みのしおり」の作成などを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・「青少年健全育成チラシ」を作成し、小中学校、各市民センター、関係機関等に配布するとともに、全ての自治会に回覧を依頼した。また、「休みのしおり」を3回発行し小中学校の児童・生徒に配布した。 ・カラオケ店、ゲームセンター、コンビニエンスストア等の経営者に対し青少年の非行防止と健全育成への協力について依頼し、青少年の健全育成環境整備対策に努めた。 ・協議会を以下の内容により2回開催した。 【実施日：7月4日】 令和5年度青少年健全育成活動状況について 令和6年度青少年健全育成活動計画について 令和6年度青少年健全育成環境整備対策について 【実施日：2月7日】 令和6年度青少年健全育成活動状況について 青少年健全育成チラシについて ・青少年健全育成基本方針(令和7～9年度)策定に向けて協議を行った。 	○	子育て応援課
	27	放課後子ども教室	スポーツや文化活動やさまざまな体験活動、地域住民との交流活動などを実施します。学ぶ意欲のある子どもにも、学習機会を提供します。	<p>市内16校で、おうめ放課後子ども教室「タやけランド」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一小(全46回) 延べ参加人数 1,352人 ・第二小(全43回) 延べ参加人数 896人 ・第三小(全22回) 延べ参加人数 356人 ・第四小(全95回) 延べ参加人数 1,616人 ・第五小(全122回) 延べ参加人数 5,244人 ・第六小(全23回) 延べ参加人数 262人 ・第七小(全105回) 延べ参加人数 1,256人 ・成木小(全42回) 延べ参加人数 754人 ・河辺小(全24回) 延べ参加人数 518人 ・新町小(全32回) 延べ参加人数 885人 ・霞台小(全101回) 延べ参加人数 1,481人 ・友田小(全34回) 延べ参加人数 1,590人 ・今井小(全35回) 延べ参加人数 1,780人 ・若草小(全22回) 延べ参加人数 1,066人 ・藤橋小(全51回) 延べ参加人数 848人 ・吹上小(全55回) 延べ参加人数 1,585人 <p>主な活動内容：パドミントン、卓球、サッカー、工作、自主学習ほか</p>	○	子育て応援課

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(3) 家庭・学校・地域の連携	28	地域人材の活用	地域の優れた人材を掘り起こし、地域と学校が連携協力し、子どもたちの健全育成に活用します。	各学校において、地域人材を活用した事業を実施した。次年度以降も、「青梅学」として、青梅の自然や伝統文化について学べるよう、地域との連携協力を図っていく。	○	指導室
			地域の優れた人材を掘り起こし、地域と学校が連携協力し、子どもたちの健全育成に活用します。	該当なし。	—	社会教育課
	29	子ども会・保護者会等の学習活動への支援	子ども会・保護者会等の学習活動に対する支援を行い、青少年の健全育成を図ります。	用具・備品の貸出が行えるよう準備した。	○	社会教育課
	30	職場体験事業	職場体験学習として市内の中学生、高校生を受け入れ、図書館業務全般を体験します。	・生涯学習推進係：5月22日～9月25日の間において、中学生を対象にした職場体験を4校13人受入れた。 ・図書館管理係：5月22日～11月8日の間において、中学生、高校生を対象にした職場体験を8校26人受入れた。	○	社会教育課
	31	図書館と学校図書館との連携事業	市内小・中学校の学校図書館に学校図書館司書を配置し、子どもたちの読書活動推進および学習活動の支援を行います。 また、中央図書館1日図書館長や講演会などの事業を実施し、子どもの読書活動を促進します。	東小中学校を除く全小中学校に、学校司書を学校図書館に配置した。 4月10日から3月27日まで、延べ1,460回の学校支援を行った。 学校連携推進重点校事業については、対象校の第三小学校に対し、一日図書館長および講演会を実施した。 1日図書館長 10月26日 参加人数4人 国立国語研究所ジュニアプログラム「めざせ！辞書引きの達人」(会場：第三小学校)2月6日参加人数96人 7年度は、学校司書の派遣および学校連携推進重点校事業を継続実施する。また、学校司書の派遣による効果について検証し、派遣増加について検討する。	○	社会教育課

2 「ニーズに応じた生涯学習の場と機会の拡充」

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(1) 施設の整備と有効活用	32	学校施設開放	生涯スポーツの普及・発展、市民の健康と体力の増進を図るため、小・中学校の体育施設（校庭・体育館）を市民スポーツ団体の利用に供します。 生涯学習推進のため、小・中学校の音楽室を団体やサークルの利用に供します。	利用団体：172団体 利用回数：5,582回 利用人数：127,814人	○	スポーツ推進課
			生涯スポーツの普及・発展、市民の健康と体力の増進を図るため、小・中学校の体育施設（校庭・体育館）を市民スポーツ団体の利用に供します。 生涯学習推進のため、小・中学校の音楽室を団体やサークルの利用に供します。	登録団体：今井小学校2団体、第二中学校0団体 利用回数：今井小学校1回、第二中学校0回 利用人数：今井小学校25人、第二中学校0人	○	社会教育課
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	33	多摩川1万人の清掃大会	8月第1日曜日に多摩川の一斉清掃を行います。	8月4日に市内釜の淵公園において多摩川1万人の清掃大会を市内18会場で実施した。 1,454名が参加し、640kgのごみが集まった。	○	清掃リサイクル課
	34	河川清掃活動援助	多摩川以外の河川で行われる清掃活動への消耗品の援助を行います。	6月23日、7月7日に成木川清掃を行い参加者106人。8月4日に柿沢川清掃を行い参加者80人。8月25日に霞川清掃を行い参加者85人。清掃活動に対し、使用する軍手、タオル、ゴミ袋を提供した。	○	清掃リサイクル課
	35	高齢者教養講座の開催	高齢者が趣味を広げ、教養を深められるよう各種講座を開催します。活動の成果を発表する場として、高齢者教養講座合同文化祭を開催します。（対象：60歳以上の方）	高齢者教養講座を7講座実施した。 詩吟 年25回 延べ185人参加 毛筆 年25回 延べ297人参加 ペン習字 年25回 延べ186人参加 茶道 年24回 延べ246人参加 華道1 年20回 延べ133人参加 華道2 年11回 延べ44人参加 合唱 年25回 延べ853人参加 また、高齢者教養講座合同文化祭として、11月14日に市役所2階姉妹都市コーナーにて合唱講座ミニコンサートを、11月16日から17日にかけて福祉センターにて各講座の作品展示・発表等を実施した。 ※華道2は、12月9日付けで解散。	△	高齢者支援課
	36	昭和レトロ商品博物館	商店街空き店舗活用推進事業として、平成11年に住江町に開館した博物館。昭和30～40年頃のお菓子や薬などの商品パッケージを中心に、昭和を彩った懐かしい商品文化を楽しめる。また、博物館の2階には、小泉八雲作の「雪女」に関する資料が展示されており、その作品と青梅市との関わりを感じ取ることができる。	・昭和レトロ商品博物館 入館者数 7,712人	○	商工業振興課
	37	青梅産業観光まつり	青梅市の産業や観光事業を広く周知し、市内事業所を紹介するきっかけ作りのイベントとして開催。	・集合型イベントでは、飲食業等の事業者の出店枠に加えて、官公署や各種事業者の組合等が体験ブースを出展したほか、分散型イベントでも、スタンプラリーに143店舗の参加と1,492件の応募をいただくなど、様々な体験・学習の機会を提供した。次年度も引き続き、市内産業等を知ってもらうきっかけとなる事業としたい。	○	商工業振興課・青梅商工会議所・青梅市観光協会
	38	シイタケ栽培講習会	農業への理解を深め、収穫の喜びを体験していただくための講習会を開催します。	開催日：2月22日 参加者数：55人 内容：ほだ木の配付と育成管理指導 次年度目標 定員を超える申し込みがあり、大変好評なイベントであるため、引き続き実施していきたい。	○	農林水産課
39	青梅市農業祭	市内の農畜産物の直売などにより、農業への理解と関心を深めてもらうとともに、参加者同士のふれあいの場を提供します。	農業祭の実施だけではなく、昨年度に引き続き、新規就農者による直売会も実施した。 開催日：11月3日(産業観光祭内) 11月15日(正面玄関) 場所：青梅市役所 次年度目標：市民の方からは大変好評を得ているため、引き続き実施したい。	○	農林水産課	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課評価	担当部署等
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	40	森林体験教室	豊かな緑、豊かな水の原点は森にあることに着目し、炭焼きの実践や木々の観察、木工等総合的な自然体験学習を行います。	森林ボランティア育成講座の講座内容から、令和6年度実施せず。	-	農林水産課
	41	援農ボランティア事業	援農ボランティアを希望する方と受け入れ農家のマッチングを行います。援農ボランティアとして活動することで得られる農業体験、農家との交流等を通じて農業への理解を深めます。	ボランティア登録者数 34人 受け入れ農家 14人 次年度目標：多くのボランティア登録があり、農家との交流ができています。引き続き実施したい。	○	農林水産課
	42	観梅市民まつり	吉野梅郷梅まつりで行われる「観梅市民まつり」では、パレードや地元郷土芸能の披露などが行われ、多くの市民が出演者もしくは観客として参加し、おまつりを盛り上げています。	令和6年度の「観梅市民まつり」は、令和7年3月2日(日)に実施し、各イベントも再開されて、観梅市民まつりの来場者数は約15,500人だった。 次年度についても継続して開催をし、来場者数増を目標とする。	○	シティプロモーション課
	43	令和〇〇年成人の日青梅市二十歳を祝う会	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励まします。 1月第2月曜日(成人の日) 総合体育館ホール	実施日 1月13日 会場 総合体育館 出席者数 890人 タイムカプセル作品返還、中学校の先生からのビデオレターを上映した。	○	社会教育課
	44	掌理団体定期演奏会等	・青梅児童合唱団定期演奏会 ・青梅市青少年吹奏楽団定期演奏会 ・青梅市民合唱団定期演奏会 ・ファミリーコンサート ・いこいの音楽会 ・はっぴーさまーこんさーと	・青梅児童合唱団 定期演奏会 9月16日 会場 福生市民会館 観客数 220人 ・青梅市民合唱団 定期演奏会 11月30日 会場 プリモホールゆとろぎ 観客数 430人 ・青梅市青少年吹奏楽団 定期演奏会 12月1日 会場 プリモホールゆとろぎ 観客数 190人 ・ファミリーコンサート 4月7日 会場 プリモホールゆとろぎ 観客数 330人 ・いこいのおんがくかい 青梅児童合唱団 8月22日 観客数 45人 青梅市民合唱団 8月27日 観客数 50人 ・はっぴーさまーこんさーと 青梅市青少年吹奏楽団 8月4日 観客数 100人	○	社会教育課
	45	市民大学	人文・社会科学・自然科学・産業技術・芸術文化・市民生活・国際関係等の中から現代的課題に対応する学習機会を提供していきます。	NHKが企画した講演会について募集案内があり、申し込んで当選した場合に実施可能となるため令和6年度は実施せず、令和7年度も予定なし	-	社会教育課
	46	農業食育体験教室・市民センター文化祭販売体験	野菜の栽培や収穫、調理までの作業を体験し、農作業への関心を持ち理解を深めることを目的に、半年間の体験教室を行います。市民センター文化祭に参加し、野菜の販売体験を行います。 ・東京都農林水産振興財団・青梅食育クラブ共催事業	農業・食育体験教室を実施し、農業や食育について学んだ。全9回の講座を実施した。また教室の中で、文化祭での野菜の販売体験を行った。 農業・食育体験教室 延べ参加人数 398人	○	社会教育課
47	豊かに生きるための教室・講座等の実施	趣味を広げ、知識・教養を深め、参加者同士の交流を広げるため、人生を豊かにする教室・講座等を開催します。	・飛び出せ！夏のサイエンスキッズ3講座(53人) ・らんま先生のeco実験パフォーマンス「環境問題と防災を学ぼう！」(168人) ・マクロ大王 木村清氏 講演会 ～世界平和に繋がる仕事～(103人) ・キッズ☆体験教室4講座(55人) ・飛び出せ！サイエンスファミリー科学の最先端を見よう！バスツアー(44人) ・渡邊學而の名曲へのお誘い(70人) 市民映画会 ・僕のワンダフル・ライフ(吹替版)(92人) ・最高の人生の見つけ方(邦画版)(340人) ・アイ・アムまきもと(96人) ・S I N G / シングネクストステージ(吹替版)(95人) ※括弧内は講座の延べ参加人数 今後も様々な講座をバランス良く企画する。	○	社会教育課	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	48	ビデオプロジェクター等操作講習会	ビデオプロジェクター等の操作方法、外部機器との接続方法、映写方法などを学ぶ講習会を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオプロジェクター操作講習会 12月3日実施 計9人修了 16ミリ発声映写機操作講習会 2月13日実施 計6人修了 	○	社会教育課
	49	生涯学習フェスティバル(釜の淵新緑祭)	釜の淵公園・旧宮崎家・文化交流センターを生生涯学習サークルの発表の場とし、楽しいイベントを通じた市民の交流の場とします。	生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭2024～ 実施日 5月11日、12日 会場 釜の淵公園、旧宮崎家、文化交流センター 延べ参加人数 3,307人	○	社会教育課
	50	中央図書館講座等	図書館の広報と利用者サービスの拡充を図るため、原画展や講演会などを実施します。	<p>市民の教育と文化の向上を図るための学習機会を提供するため、次のとおり各事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○展示 <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚コーナー資料展示(2階フロア) 4月1日～3月31日 11回 ・ハンディキャップコーナー資料展示(2階フロア) 4月1日～3月31日 3回 ・資料展示(3階フロア) 4月1日～3月31日 50回 ・児童コーナー資料展示(3階フロア) 4月1日～3月31日 46回 ・資料展示(4階フロア) 4月1日～3月31日 16回 ・分館資料展示(9分館) 4月1日～3月31日 457回 ○記念館で読書案内(吉川英治記念館) 5月12日、11月3日 2回 参加人数9人 ○青梅市図書館を使った調べる学習コンクール <ul style="list-style-type: none"> ・応募作品数 小学生の部:652作品 中学生の部:14作品 ・表彰式 12月7日 ・調べる学習コンクール教師向け説明会 5月13日 参加人数8人 ・調べる学習コンクール児童向けワークショップ 6月13日～7月1日 6回 参加人数188人 ・本を使って調べたことをみんなに伝えよう 7月27日 参加人数4人 ・はじめての調べる学習体験ワークショップ 8月3日 ○釜の淵新緑祭おはなし会 5月11日 参加人数25人 ○朗読会 <ul style="list-style-type: none"> ・この指とまれ!朗読会 5月18日 57人 ・秋の朗読会「崎田和子の語りの部屋」 10月19日 参加人数57人 ○本好きたちの読書会～同じ本を読んでみんなで語りあいましょ～ 6月15日～2月2日 5回 参加人数79人 ○図書館利用者懇談会&ブックコーティング体験会 1月25日 参加人数4人 <p>7年度は、既存事業の継続実施を中心としながら、内容の充実や新規事業について実施を検討する。</p>	○	社会教育課
51	中央図書館での工作及び手芸教室	工作などを通じて手作りの楽しさ、創造することのおもしろさを体験する各種教室を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館工作教室 8月7日～8月8日 2回 参加人数35人 分館工作教室 <ul style="list-style-type: none"> 青梅図書館ミニ工作会4月21日～3月16日 12回 参加人数126人 長瀬図書館 4月27日～5月6日 参加人数40人 大門図書館 8月13日～8月18日 参加人数30人 うめこの時間 ワークショップ(梅郷) 8月24日、12月21日 2回 参加人数18人 沢井図書館 11月10日 1回 参加人数22人 今井図書館こうさく会 4月20日～3月15日 12回 参加人数112人 今井図書館(一般向け) 10月24日 1回 参加人数10人 <p>7年度は、既存事業の継続を中心としながら、内容の充実や新規事業について実施を検討する。</p>	○	社会教育課	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課評価	担当部署等
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	52	中央図書館での上映会	中央図書館多目的室において、映画会を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館映画会 4月28日～3月23日 12回 参加人数 560人 はじめての上映会 6月23日 1回 参加人数 42人 中央図書館子ども映画会 7月28日～3月23日 3回 参加人数 84人 バリアフリー上映会 12月1日 1回 参加人数 30人 7年度は、既存事業の継続を中心としながら、内容の充実や新規事業について実施を検討する。	○	社会教育課
	53	アートによるまちづくり推進事業	子どもから大人まで同じ空間で一緒にアートに親しみ、アートを通じてのまちづくりを推進することを目的としたプログラムを実施する。	3月8日『パントマイムが青梅で観られる!?山本光洋スペシャルステージ』 参加人数 318人	○	社会教育課
	54	展示・普及事業	青梅市の歴史や自然を紹介する常設展のほか、郷土の歴史や文化財などをテーマとした企画展等を年3回程度開催します。 また、企画展等に関連した講演会、解説講座を開催します。	○令和6年度取組状況 1 「新収蔵品展2024」 ①会期：4.20～8.4 ②入館者数：3,478人 2 特別展「青梅線開通130周年～青梅駅舎も築100年～」 ①会期：9.7～12.1 ②入館者数：4,770人 3 特別展「青梅市郷土博物館開館50周年のあゆみ」 ①会期：12.21～3.30 ②入館者数：2,314人 4 博物館講座「親子で学ぶ！夏の夜の昆虫観察会」 ①実施日：8.15 ②参加者数：16人 5 特別展関連講座「青梅鉄道の成立と展開」 ①実施日：11.4 ②参加者数：76人 6 特別展展示見学会「青梅線開通130周年～青梅駅舎も築100年！～」 ①実施日：11.16 ②参加者数：20人 7 特別展記念講演会「想 多摩川 創立五十周年の青梅市郷土博物館」 ①実施日：3.23 ②参加者数：56人 8 特別展「青梅線開通130周年～青梅駅舎も築100年！～」図録発行（800部） 9 青梅鉄道資料調査報告「青梅鉄道のあゆみー創立から国有化までー」発行（700部）	○	文化課（郷土博物館）
55	文化財の保存・活用等	文化財の適切な保存・活用に努めるため、指定文化財の保存事業として、保存修理補助や報償金の支給を行います。 また、旧吉野家住宅などの指定文化財住宅を活用したイベントに取り組みます。	○令和6年度取組状況 当初5件の予定が、2件見送りになり、2件追加となったため、5件の指定文化財保存修理事業について補助金を支出した。 1 都指定史跡「成木熊野神社境域」枯損木の伐採 ①工期：11.1～R7.2.5 ②概要：ナラ枯れ等による枯損木の伐採 2 市指定無形民俗文化財「友田御嶽神社獅子舞」獅子頭等収納箱作製 ①工期：8.19～10.22 ②概要：獅子頭および花笠を保存するための収納箱の作製 3 市指定無形民俗文化財「上成木高水山獅子舞」獅子頭用水引等修理 ①工期：9.1～2.14 ②概要：獅子舞で使用する笹良用帯および獅子頭用水引の修理 4 市指定天然記念物「横吹の大イヌグス」危険枝等剪定 ①工期：2.16～3.1 ②概要：枯れ枝や危険枝等の剪定 5 市指定史跡「武蔵御嶽神社」石段修理 ①工期：9.5～2.28 ②概要：参道銅鳥居そばの石段修理	○	文化課（郷土博物館）	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(2) 豊かに生きるための学習機会の充実	56	文化財の普及・啓発	市内にある文化財等の解説を広報などに掲載します。 文化財を解説した案内書を活用し、文化財見学会等、事業を実施します。 また、市内小中学校を対象とした文化財解説ボランティアの育成に取り組みます。	○令和6年度取組状況 1 「青梅市の文化遺産」 市広報毎月15日号に掲載 2 「青梅市文化財ニュース」 毎月15日発行 3 「文化財保護指導員活動報告書」 毎年発行 4 わがまち青梅講座 (1) 「青梅駅周辺の神社とお寺をめぐる」 ①実施日：5.25 ②参加者数：16人 (2) 「青梅鉄道と観光開発ー御嶽・沢井駅周辺をめぐるー」 ①実施日：11.23 ②参加者数：16人 (3) 「梅の里の文化財さんぽ」 ①実施日：3/8 ②参加者数：10人 5 文化財解説ボランティア 小学生の社会科学見学等の解説活動(18回)や全体会(1回)、学習会(9回)を実施した。	○	文化課(郷土博物館)
	57	伝統文化の継承、支援	無形民俗文化財を継承するための活動や用具等の保存修理などの支援を継続して取り組みます。 また、本市の伝統的な無形民俗文化財を知る機会の充実を図るため、SNS等の様々な媒体を活用することにより、市内外に広く効果的な形で周知します。	市内に伝わる祭礼行事や年中行事などを市の広報に加え、市公式HP、X(旧Twitter)を活用するなどの情報発信を積極的に行った。 無形民俗文化財保存団体意見交換会を2回(8.7、12.25)開催した。	○	文化課(郷土博物館)
	58	吉川英治記念館の運営事業	吉川英治記念館を通じ、吉川英治の功績を継承するとともに、市民の文化の向上に寄与します。 また、地域の活性化のために、指定管理者や地元関係団体等と連携し、展示事業や自主事業を開催します。	○令和6年度取組状況 ①春季展示「昭和20年代の英治作品と暮らし」 (1)会期：4.13～6.30 (2)入館者数：1,758人 ②夏季展示「吉川英治と市所蔵の文豪たち～青梅市吉川英治記念館×文豪とアルケミストIV～」 (1)会期：7.13～9.29 (2)入館者数：1,914人 ③秋季展示「吉川英治作品の挿絵の世界 其の一」 (1)会期：10.19～12.15 (2)入館者数：1,704人 ④新春展示「映像・演劇作品から知る吉川英治」 (1)会期：1.4～3.30 (2)入館者数：1,931人 2 自主事業 ①地域連携事業「五月人形展」 (1)会期：4.27～5.19 (2)入館者数：614人 ②「秋のライトアップと夜間開館」 (1)会期：11.9～11.24 (2)入館者数：144人(夜間入館者数) ③地域連携事業「青梅夜具地展」 (1)会期：2.16～3.20 (2)入館者数：1,242人 ④地域連携事業「ひな人形展」 (1)会期：2.16～3.20 (2)入館者数：1,242人 他、各種事業を実施した。	○	文化課(吉川英治記念館)
	59	展示・普及事業	テーマに沿った特別展や企画展、共催展として年4～5回、美術展を開催します。 青梅市ゆかりの作家小島善太郎、藤本能道の作品を年4～5回程度展示替えし、紹介します。 また、美術館のほかに、市役所2階の展示スペースを活用し、年3回展示替えをし、紹介します。 実技講座、美術講演会、ギャラリーガイド等を実施し、美術への関心を深めていただきます。	施設改修の為休館	○	文化課(美術館)
60	親子農業体験会	田植え・稲刈りといった農作業を体験していただき、市民と市内農業とのふれあいを図ります。	田植え ・6月15日実施 ・参加人数 14組33名参加 稲刈り ・10月12日実施 ・参加人数 11組27名参加 収穫した米については、参加申込者に配布した。 次年度目標 参加者からは大変好評を得ているため、引き続き取り組みたい。	○	農業委員会	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課評価	担当部署等
(3) ともに生きるための学習機会の充実	61	国際交流活動支援	国際交流団体の国際交流事業に対する補助(国際交流基金)等の支援を行い、活動の活性化を目指します。	語学研修事業および文化交流事業を行う市内4団体に対し、国際交流基金を原資とした補助金を交付した。 引き続き、国際交流の普及を図るため、国際交流基金を更に多くの市民に周知し、また、有効活用しながら、国際交流活動を支援する。	○	秘書広報課
	62	平和の写真展等の開催	世界の恒久平和を希求することをテーマとした写真展やパネル展を開催し、市民が平和について考える機会とします。	7月29日から8月15日まで、市役所1階ロビーにおいて、「原爆展～サダコと折り鶴～」を開催した(展示パネルは、広島平和記念資料館から借用した)。 3月3日から3月13日まで、市役所2階ロビーにおいて、羽村市と共催で「東京の空襲資料展」を開催した。戦後80年の節目として、市民からお借りした戦争関連品を併せて展示した。 3月8日に戦後80年戦争体験講話会を開催し、東京大空襲体験伝承者による体験語り、青梅に墜落したB29に関連する講話やドキュメンタリーの上映を実施した。	○	市民安全課
	63	ジェンダー平等講座の開催	ジェンダー平等参画の視点に立った講座を実施します。	ジェンダー平等の意識啓発のため、ワーク・ライフ・バランスについて考える講座を開催した。また、男女共同参画週間などのパネル展示を行った。	○	市民安全課
	64	女性の就業支援	働く女性の能力開発および就業意欲向上のための講座を開催し、情報提供を行います。	将来の女性リーダーを育成するためのスキルアップセミナーを開催した。また、セミナーのほか、講演会や勉強会も行った。	○	市民安全課
	65	平和学習資料の上映会の開催	原爆等の戦争被害を題材とした映像資料の上映会を実施し、市民が平和について考える機会とします。	7月29日と8月6日に平和学習アニメ上映会を開催し、「つるのこ」を上映した。	○	市民安全課
	66	老壮大学	教養の向上と生きがいづくり、心身の健康増進のために各種講演会・講習会を行います。青梅老壮大学、調布ことぶき大学、霞老壮大学、小曾木老壮大学、東青梅老壮大学、河辺老壮大学	(青梅C・青梅老壮大学)各種講座等を開催した。参加人数:522人 (長瀬C・調布ことぶき大学)講演会等の行事を開催した。延べ参加人数:251人 (大門C・霞老壮大学)各種講座等を開催した。延べ参加人数:579人 (小曾木C・小曾木老壮大学)各種講座等を開催した。参加人数:277人 (東青梅C・東青梅老壮大学)各種講座等を開催した。延べ参加人数:390人 (河辺C・河辺老壮大学)各種講座、講演会を開催した。延べ参加人数:479人	○	市民センター
	67	社会を明るくする運動	人々が互いに助け合い、希望を持って生きることのできる明るい社会を目指して、座談会やチラシの配布など啓発事業を行います。	・7月1日から12日まで本庁舎1階ロビーに啓発ブースを設置。 ・7月1日にJR青梅駅・東青梅駅・河辺駅周辺および、中央図書館周辺、T A I R A Y A 吉野店周辺にて保護司、更生保護女性会、民生委員等と啓発活動を実施。 ・市内学校、自治会掲示板、市施設等720箇所へポスターの掲示、市庁舎南側に横断幕の掲出。 ・各市民センターでミニ集会を実施。 ・健康まつり、お〜ちゃんフェスタ等のイベントにて啓発活動を実施。	○	地域福祉課
	68	家庭介護DVDの貸出し	在宅の介護者やボランティアの方々の活動を支援するために、介護等のDVDを無料でお貸しします。	家族介護のためのDVD等の貸し出しを行った。 利用者数 1名 利用本数 1本 次年度についても事業を継続する。	△	高齢者支援課
	69	認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する、認知症サポーターを養成するための講師を派遣します。また、認知症サポーターに対し、ステップアップ講座を行います。	認知症サポーター養成研修を以下のとおり実施した。 ・実施回数 22回 ・養成サポーター数 500人 認知症サポーターに対して各地域包括支援センターへの委託によりステップアップ講座を実施した。 ・実施回数 3回 ・受講人数 40名 次年度についても事業を継続する。	○	高齢者支援課

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(3) ともに生きるための学習機会の充実	70	家族介護教室	高齢者を介護している家族等を対象として、介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等の知識・技術を修得する教室を開催します。	介護の日イベントに合わせて3講座を開催した。 実施日：11月3日 内容： ①『高齢者体験キット・片麻痺キットを使用した体験』 ②『福祉ネイル』 ③『老後に備えた終活の講話』 講師：田中 洋一郎 弁護士 次年度も継続して開催する。 参加者：①16人 ②12人 ③20人	○	高齢者支援課
	71	手話講習会事業	福祉に対する関心を高め、地域福祉を推進するため、手話の初・中・上級講習会を開催します。初・中級講習会は、障害者団体等と協働で実施します。	青海市聴覚障害者協会との協働事業として、初級手話講習会および上級手話講習会を実施した。 初級手話講習会（全30回）開催 上級手話講習会（全30回）開催	○	障がい者福祉課
	72	点字図書給付事業	視覚障がい者の方に、点字図書を給付し、その活動を支援します。	障がい者のおしりや、市ホームページ等で周知を行った。	△	障がい者福祉課
	73	身体障がい者自動車運転教習事業	身体障がい者の就労など社会参加の拡大を図るため、自動車運転教習費用の助成を行います。	心身障がい者の就労など社会参加の拡大を図るため、自動車運転教習費用の助成を行った。 助成件数 4件	○	障がい者福祉課
	74	相談支援事業	市の窓口で、障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うことで社会生活の自立に向けた支援をします。	障がい者福祉課、青海市障がい者サポートセンター、青海市障害者就労支援センターで実施。 ・市役所障がい者福祉課 実利用人数847件 ・障がい者サポートセンター 延べ相談件数13,586件 ・障害者就労支援センター 延べ相談件数8,447件	○	障がい者福祉課
	75	意思疎通支援事業	意思の疎通が困難な重度聴覚障がい者の方に対して、公共団体等が主催する行事などに手話通訳者・要約筆記者を派遣します。	青海市社会福祉協議会、東京聴覚障害者福祉事業協会を通して手話通訳者・要約筆記者を派遣した。 利用者数 延べ242人	○	障がい者福祉課
	76	青海市障がい者サポートセンター事業	障がいのある方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供や支援を行い、障がいのある方の創作活動や生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進等を行います。また、障がいのある方やその家族、障がい者団体等が活動する場を提供し、障がいのある方の自立の促進を図ります。	条例・規則に定めた支援を実施した。 ・相談支援 延べ相談件数 13,586件 ・創作活動や生産活動 延べ参加人数 2,807件 ・施設貸出し 延べ利用人数 1,730件 ・生活支援（パソコン指導・療育指導） 延べ人数 928件	○	障がい者福祉課
	77	中等度難聴児発達支援事業	身体障がい者手帳の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を給付し、言語の習得等を促進させ健全な発達を支援します。	身体障害者手帳の交付対象とならない中等度難聴児に対して、補聴器の購入費用の一部を給付し、言語の習得等を促進させ健全な発達を支援した。 給付件数 4件	○	障がい者福祉課
	78	ともに生きるための教室・講座の企画運営	地域で助け合いと協力、ふれあいを支援する教室・講座を開催します。 高齢者の生きがい、男女平等、人権平和・国際理解、障がい者の学びの場を実現し、地域で助け合いと協力、ふれあいを支援する教室・講座を開催します。	・ジェンダー平等講演会「人気アニメ作品からみるジェンダー平等」（15人）	○	社会教育課
79	国際理解講座	1 世界に広がる教室 次代を担う青少年（小学4年生～高校生）のために、国際的な視野と教養が身につくよう支援します。（英会話と文化講座） 2 外国人日本語講座 外国人が日本語を正しく理解し、安全で快適な市民生活が送れるよう講座を実施し、支援します。（正しい日本語の学習「音声・文字・助詞」）	1世界に広がる教室・小学生講座 実施日 5月18日～3月8日（全20回） 小学校4年生～6年生 76人 中学生 36人 高校生 5人 2 外国人日本語講座 実施日 5月15日～11月13日（全18回） 内容 正しい日本語の学習、音声、文字、助詞 参加人数 8人	○	青梅佐藤財団・社会教育課	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	80	介護予防講演会	介護予防に関する基本的な知識の普及啓発のため講演会を開催します。	介護予防、認知症予防等に関する講演会を2回開催した。 ・介護予防講演会『介護予防のスパイス～ちょこっと足してながーく元気に』フレイル予防の3本柱プラス口腔について、ちょい足しについて、グループでできる運動について 実施日：9月10日 講師：健康長寿医療センター 副センター長 植田 拓也 先生 参加者：26名 ・認知症講演会『認知症とは何か？～早期発見早期対応の重要性について～』 実施日：3月3日 講師：秋川病院 植田 宏樹 院長 参加者：80人 次年度も継続して開催する。	○	高齢者支援課
	81	介護予防教室	高齢者の健康寿命延伸、介護予防を目的に、健康チェックや集団での運動などを行います。	介護予防教室を下記のとおり実施した。 ・健康長寿寿命のび～る教室 6回×年3回 計51人(延べ269人) 委託事業者：医療法人社団和風会 長瀬市民センター、新町市民センター 福祉センター ・脳イキイキ教室 全6回×年3回 計34人(延べ165人) 委託事業者：医療法人社団和風会 会場：東青梅市民センター、沢井市民センター、小曾木市民センター 次年度も継続して開催する。	○	高齢者支援課
	82	おうめ健康まつり	医師による健康相談、健康チェック、歯科相談、薬の相談、展示、体験等のコーナーや健康に関する講演など、市民一人ひとりが家族ぐるみで楽しく健康づくりを学べる催しです。	【取組状況】 立てた目標のとおり、前年開催より健康づくりに関係する内外の部署に協力依頼し、ブースやコーナーを増やし開催した。雨天にも関わらず、受付でのカウント数374人(ただし、子どもを除く。)の前年比175増の来場者があった。 <次年度目標> 市民が健康づくりに関心を持ってもらうために来場数の増加を目標にし、集客重視のイベントを企画、実施する。	○	健康課
	83	健康教育	生活習慣病の予防とその他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自分の健康は自分で守る」という自覚を高め、健康の保持増進を資することを支援する。	【取組状況】 生活習慣病予防その他の健康保持・増進に関連した健康教育を計57回(1,776人)実施した。 【次年度目標】 なるべく多様な人々の参加を促すため、休日や夜間に実施する事業を取り入れるなど、メニューの更新を図り、生活習慣病予防その他健康保持・増進に関連した健康教育を45回以上実施する。	○	健康課
	84	健康相談	心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、自分および家族の健康管理に資することを支援する。	【取組状況】 中央図書館等で健康相談12回(159人)、栄養相談12回(37人)実施した。また、骨密度検診の機会を捉えて、健康相談5回(101人)、栄養相談5回(75人)実施した。 その他の相談として健康センターで面接、電話による相談を実施した(面接42人、電話88人)。 【次年度目標】 中央図書館、健康センター等での面接、電話による相談を継続実施する。	○	健康課
	85	おうめ健康塾	当院の医師・看護師等が講師となり、疾病の原因、治療、予防等のテーマに沿った情報をオンラインにて配信します。	新型コロナウイルス感染症発生後、対面式のおうめ健康塾を見合わせ、令和3年度11月からオンライン配信版おうめ健康塾を実施しており、令和6年度は過去に配信した動画13本を引き続き公開した。 なお、令和7年度より、病院内講堂において対面式のおうめ健康塾を再開予定。	○	病院総務課

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(4) 健やかに生きるための学習機会の充実	86	オリンピック・パラリンピック文化レガシー事業	東京オリンピック・パラリンピック2020を契機に、文化の素晴らしさを広く市民に享受できるように、市内4地域でプロのアーティストによる文化体験プログラムを行う。また、スポーツDAY青梅にて文化的に触れるワークショップを実施する。	・オリンピック・パラリンピック文化レガシー事業(文化ワークショップ)(319人) ①回遊パフォーマンス タカパーチ・クラウンひまわり ②デフパペットシアターひとみ 音で遊ぶワークショップ ③あそぶあーと 感覚ワークショップ ・オリンピック・パラリンピック文化レガシー事業(文化キャラバン)(101人) ならず・つくる・おどる!やってみよう!ガムラン楽器と仮面づくり	○	社会教育課
	87	各種体操教室	市民の健康・体力づくりを目的とした各種体操教室を総合体育館で実施します。幼児、小学生、親子、勤労者、女性、中高齢者など、対象別の各種教室を企画・開催し、参加者にとって魅力のある教室の運営を図ります。	【当日参加型教室】 ホップステップ体操、いきいき体操、はつらつ体操、シェイプアップ体操、のびのび体操ほか 延べ参加人数:15,077人(370回) 【登録教室】 ママヨガ、ひきしめピラティス、太極拳、パドミントン、ジュニアフットサルほか 延べ参加人数:10,952人(1,047回)	○	スポーツ推進課
	88	青梅マラソン大会	スポーツを通じてボランティアをする機会を提供します。 全国の市民ランナーと国内外の招待選手が青梅に集い、マラソンを通して選手と市民がスポーツ・文化交流を深めます。 30キロの部、10キロの部	実施日 2月16日 参加人数 14,100人 30キロの部 10,718人 10キロの部 3,382人 ジュニアロードレース 参加人数 371人 小学生の部 261人 中学生の部 110人	○	スポーツ推進課
	89	軽スポーツ普及事業	気軽にできるウォーキングや軽体操等の軽スポーツ普及・促進に関する事業を開催し、市民の体力・健康の維持増進の取組への意欲向上に寄与します。	・ウォーキングフェスタ 実施日 11月23日 参加人数 83人 ・オクトーバー・ラン&ウォーク2024 開催期間 10月1日~10月31日 参加人数 916人	○	スポーツ推進課
	90	スポーツDAY青梅	スポーツ・レクリエーションを体験する場を提供することにより、市民一人一人のスポーツに対する意欲を喚起するとともに、国際的なスポーツ大会の普及啓発や、誰もがスポーツに親しむことのできる環境づくりを通じて、生涯スポーツを振興します。	e スポーツ等の誰もが楽しめる各種スポーツ体験を実施 スポーツDAY青梅2024 実施日:10月14日 会場:住友金属鉱山アリーナ青梅ほか 参加者数:延べ6,293人	○	スポーツ推進課
	91	市民スポーツ大会	市民の体力づくりと技術の向上を図ることを目的として、青梅市体育協会に委託し、各種大会を実施します。	種目 27種目 参加人数7,638人	○	スポーツ推進課
	92	奥多摩溪谷駅伝競走大会	80回を超える歴史と伝統を誇る大会で、200チーム以上が冬の奥多摩路を疾走します。 一般、大学、高校、女子、中学生、小学生、支会・自治会の部	実施日 12月1日 参加チーム数273チーム	○	スポーツ推進課
	93	屋内温水プール開放事業	市内にある民間温水プールを借り上げ、年間を通じた市民の健康、体力づくりの場として提供します。	開放回数:62回 利用人数:2,006人	○	スポーツ推進課
	94	ユニバーサルスポーツ普及事業	東京2020大会のレガシー継承の観点から、障がいの有無を超えて誰もが一緒に楽しむことのできるボッチャ等のユニバーサルスポーツの普及・推進に関する事業を開催し、スポーツを通じた共生社会の実現を図ります。	ボッチャ交流会やスポーツDAY青梅2024を通じてユニバーサルスポーツの普及を図った。 1 ボッチャ体験教室 実施日 4月13日、5月11日、5月18日 参加人数 76人 2 ボッチャ交流会 実施日 6月2日 参加人数 174人 3 スポーツDAY青梅 実施日:10月14日 会場:住友金属鉱山アリーナ青梅 参加者数 422人 (ボッチャ 211人、オンラインボッチャ211人)	○	スポーツ推進課

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課評価	担当部署等
(4) 健康やかに生きるための学習機会の充実	95	健康やかに生きるための教室・講座の企画運営	市民が健康な生活を送れるよう支援する教室・講座を開催します。	1 短期スポーツ教室 ・少林寺拳法教室 開講期間 7月21日～8月18日の毎週日曜日 実施会場 永山体育館 参加人数 42人 ・ランニング教室 実施日 11月30日 実施会場 永山公園総合運動場野球場 参加人数 101人 2 長期スポーツ教室 ・柔剣道スポーツ教室 柔道教室 延べ255教室 (2,699人) 剣道教室 延べ455教室 (3,459人) 3 ジュニアスポーツ教室 (各教室計4回ずつ実施) バスケットボール教室 (210人)、バレーボールに教室 (133人)、バドミントン教室 (149人)、ビーチボール教室 (139人)、卓球教室 (153人)、テニス教室 (118人)、新体操教室 (100人)、ソフトテニス教室 (133人) 4 誰でも楽しめるスポーツ教室 東京オリンピック・パラリンピックレガシー事業として、障がいの有無に関わらず参加できるカヌー体験会を実施した。 実施日: 9月7日、8日 会場: 東原公園水泳場 参加者数: 88人 5 山本浩氏 講演会 実施日: 8月27日 会場: 文化交流センター 参加者数: 71人	○	スポーツ推進課
			市民が健康な生活を送れるよう支援する教室・講座を開催します。	青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 ・作業療法学生による認知症予防講座 (89人) ※括弧内は講座の延べ参加人数	○	社会教育課

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課評価	担当部署等
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	96	パネル展等(消費者知識習得・被害防止)	消費者知識の習得と消費者被害防止を図るため、パネル展示やパンフレット等の配布により啓発を行います。	市役所エントランスロビーにおいて、悪質商法の手口等を紹介したパネル展示を3回実施した。6月4日には河辺駅周辺で消費者被害防止啓発キャンペーンを実施し啓発物等を配布したほか、6月2日にはおうめ健康まつりで、11月3日には市民のくらし展においてパネル展示、啓発用物品やパンフレット等の配布などを行った。	○	市民安全課
	97	消費生活講座等	消費者問題や日常の生活に役立つ身近なテーマを取り上げ、開催します。	消費者講座・啓発事業等(生活知識に関するもの)5事業:310人、食に関するもの2事業:35人、計7事業開催し345人が受講した。	○	市民安全課
	98	交通安全講習会	青梅警察署および青梅交通安全協会と連携し、一般市民を対象に市内12か所の会場で、交通安全講話と交通事故防止を目的とした映画上映を行い、交通安全意識の高揚と事故防止を図ります。春・秋の交通安全運動に先がけて、各12日間実施します。	・秋の交通安全講習会 令和6年8月22日～9月4日 10会場※台風のため2会場中止 受講人数 300人 ・春の交通安全講習会 令和7年3月1日～3月14日 10会場※降雪のため2会場中止 受講人数 420人	○	交通政策課
	99	セーフティ教室(交通事故再現方式)	交通事故再現方式による自転車安全教育を中学校において行い、交通安全意識の高揚と事故防止を図ります。	泉中学校(令和6年5月7日) 参加生徒数:420人 新町中学校(令和6年6月18日) 参加生徒数:155人 吹上中学校(令和6年11月12日) 参加生徒数:195人	○	交通政策課
	100	環境月間	環境保全の重要性を認識し、行動の契機とするため、各種の啓発を行います。	・6月の環境月間の期間中、おうめ環境フェスタの一環として、市役所1階において市民団体のパネル展示と、中央図書館において環境関連図書コーナーを設置した。	○	環境政策課
	101	親水事業	市民団体等と協働で、事業体験型や学習型の親水事業を実施します。	おうめ水辺の楽校運営協議会構成団体と協働で、小中学生を対象とした親水事業を6回実施。のべ参加者407名(保護者含む)。	○	環境政策課
	102	ヤマメの飼育体験教室	市内小学生がヤマメのふ化から放流までを体験することにより、自然の大切さや生命の尊さを知る機会を提供します。	発眼卵配布 ・第二小学校(11月6日、90人)→3月7日稚魚放流 ・第六小学校(11月5日、88人)→3月6日稚魚放流 ・第七小学校(11月7日、27人)→3月12日稚魚放流 ・友田小学校(11月8日、52人)→3月4日稚魚放流	○	環境政策課
	103	動物愛護週間	市内のボランティア団体と協働で、動物の愛護と適正な飼養についての関心と理解を深めてもらうための各種啓発活動を行います。	9/20～9/26に「動物愛護週間イベント in おうめ」でパネル展示を実施した。また、動物愛護週間に近い日付の9/15に動物愛護啓発映像上映会を実施した。	○	環境政策課
	104	フードドライブ	食品ロス対策の啓発として、家庭で余っている食べ物をお持ちいただき、集められた食べ物をフードバンク等に寄付する活動です。	窓口での常時受付、各種イベント(お〜ちゃんフェスタ、産業観光まつり)で受付をし、以下の回収量となった。集められた食品は、市内こども食堂や福祉事務所等に食品提供をしているフードバンク青梅に寄付した。 令和6年6月1日から総合体育館での受付も開始した。 R6実績:154件 511.10kg(市役所) - 件 108.12kg(総合体育館) R5実績:193件 1696.6kg	○	清掃リサイクル課
	105	ごみ処理施設見学会	市民のリサイクル意識の高揚と啓発のため、リサイクル製品再生工場等の施設見学会を実施します。	3月6日 西多摩衛生組合、つるつる温泉、東京たま広域資源循環組合の二ツ塚処分場およびエコセメント化施設 38人 1月30日 リサイクルセンター、(株)エフピコ 関東リサイクル工場見学会、37人 合計 75人	○	清掃リサイクル課
106	市内一斉美化デー	ごみ減量の啓発および地域の環境美化向上のため、環境美化委員の協力により各地域の美化活動を行います。年2回	市内一斉美化デーを、5月12日と12月8日を中心として各地区ごとに実施し、5月が832人、12月が903人、延べ1,735人が参加した。	○	清掃リサイクル課	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実	107	小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進ポスター&キャッチフレーズコンクール	社会問題になっているごみ問題について、その減量化や資源化の大切さを個々に考えてもらうよう、啓発を行います。	ポスター部門は小学校9校から98点の応募、キャッチフレーズ部門は小学校11校から215点の応募があり、10月1日に審査会、11月3日に産業観光まつり内で表彰式を行った。入賞作品はホームページへ掲載した他、市役所1階に展示し、金賞および最優秀賞作品は令和7年度資源物・ごみ収集カレンダーの表紙に使用した。またキャッチフレーズ部門優秀賞の中からごみの減量に関するものを選び横断幕を作成し市内の公共施設等に掲出した。	○	清掃リサイクル課
	108	ごみ減量講座	資源循環型社会の目的理解と、ごみ減量を目指した学習を通して、ごみ問題についての啓発を行います。	ごみ減量をテーマに、市民・環境美化委員を対象にごみ減量講演会(1回)を行い、83人の参加があった。また、市内小学校および各種団体の要請に基づき、ごみ減量をテーマに生涯学習まちづくり出前講座を5回行い、406人の参加があった。ごみ減量の意識向上を図った。	○	清掃リサイクル課
	109	梅の里再生に関する学びの機会の提供	ウメ輪紋ウイルス被害からの梅の里の再生・復興に関し、地域の子供たちや市民に対し、学びの機会を提供します。また、関係機関と連携し、児童・生徒等に梅に関する体験の機会を提供します。	令和3年度にウメ輪紋ウイルスによる被害からの梅の里再生への取り組みを映像化し、DVDを作成。現在、貸出をしている。 令和6年度は西中学校で上映し、講演会を行った。 次年度目標 引き続き、資料・教材として貸出しを継続する。	○	農林水産課
	110	生涯学習まちづくり出前講座	市の施策や事業等をテーマに、市職員等が市民のところへ出向いてお話しする出前講座を実施し、市民が自分達のまちについて学ぶ生涯学習の機会を提供します。	講座名「青梅市の防災対策(地震・風水害)～自助・共助・公助～」以下講座 防災課以下19課 延べ受講者数 3,148人	○	社会教育課
	111	暮らしやすい環境のための教室・講座の企画	日常生活や環境を考え、暮らしに役立つ工夫やヒントを得る機会としての教室・講座を開催します。	農業・食育体験教室(全9回) 延べ参加人数 398人 合計 1講座	○	社会教育課

3 「自主活動の支援 知の循環型社会の構築」

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課評価	担当部署等
(1) 地域コミュニティ活動への支援	112	総合防災訓練および土砂災害対応訓練の実施	大地震による震災を想定した訓練および土砂災害を想定した訓練を実施し、防災意識の高揚を図り、防災知識や体験を深め、助け合い、協力し合う自主防災まちづくりを目指します。	市および関係防災機関、市民等が一体となり、震災想定、土砂災害想定、防災訓練をそれぞれ感染症対策を踏まえながら行い、防災意識の高揚と防災知識や体験を深めることができた。 令和7年度以降も、同様の訓練を行っていく。	○	防災課
	113	防災ハンドブックの更新・配布	市民への防災知識の普及および啓発のため、令和2年3月に配布した防災ハンドブックを更新し、配布します。 市民の自助・共助の精神を養い、災害に対応できるよう支援します。	令和6年度に更新を行った。防災ハンドブックと防災マップを分けて内容を充実させた。令和7年3月に全戸配布を行った。 転入者への配布等については、継続して実施した。	○	防災課
	114	市民活動災害補償制度	市民活動団体等が、活動中に不測の事故により、参加者や第三者に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負うことになった場合または参加者が負傷等された場合に保険で補償する制度を実施します。	・市民活動災害補償制度取扱要綱にもとづき、保険請求に係る事務手続きを行った。(市民活動推進係) 受付件数 傷害補償 4件 賠償責任補償 0件 合計 4件	○	市民活動推進課
	115	自主学習グループ支援	自主グループが学習活動を継続できるよう、活動場所や資料作成のための印刷機などを提供するほか、日ごろの活動成果の発表の場として、市民センター文化祭などを開催します。	(各市民センター) ・自主グループの活動場所として、会場や印刷機の貸出を行った。 (大門C) 自主活動グループの日頃の活動発表と文化交流の場として 大門市民センター文化展(11月16・17日、435人参加)を開催した。 (梅郷C) 自主活動グループの日頃の活動発表の場として文化祭を実行委員会とともに計画し、梅郷地区文化祭(11月10日、約1,000人参加)を開催した。 (沢井C) 自主活動グループや地域住民等が日頃の活動成果を発表する場として、市民センターにおいて三田地区総合文化祭(11月10日、来場者523人)を開催した。 (小曾木C) 自主活動グループの日頃の活動発表の場として、小曾木つまつりとの合同開催で文化祭実行委員会とともに計画し、小曾木地区文化祭(11月9・10日、約453人参加)を開催した。 (成木C) 自主活動グループや地域住民等が日頃の活動成果を発表する場として、11月9日(土)および10日(日)に成木地区文化祭を開催し、2日間合計で710人の来場者を得た。 ・(東青梅C) 自主活動グループの日頃の活動発表の場として文化祭実行委員会とともに計画し、東青梅市民センターコミュニティ文化祭(10月5・6日、1750人参加)をコロナウイルス感染症を考慮した形で開催した。 (新町C) 自主活動グループの日頃の活動発表の場として文化祭を実行委員会とともに計画し、新町末広町地区市民文化祭(11月9・10日、755人参加)を開催した。 (河辺C) 自主活動グループの日頃の活動発表の場として文化祭を実行委員会とともに計画し、河辺市民センター文化祭(10月19・20日、774人参加)を開催した。 ・(青梅C) 自主活動グループの日頃の活動発表と文化交流の場として、S&DたまごセンターあそびばART2024を、社会教育課・同実行委員会と共催で開催した。(11/23・24、延べ1,283人参加) ・(長淵C) 自主活動グループの日頃の活動発表の場として文化祭実行委員会とともに計画し、長淵地区文化祭(11月4・5日、1,377人参加)をコロナウイルス感染症を考慮した形で開催した。	○	市民センター
	116	支会、体育振興会、自主防災地区委員会、高齢者クラブ等各地域団体の支援	地域活動がスムーズに行われるよう、地域に密着した施設として、会場や備品・用具の提供などにより、地域活動が発展するよう応援します。 地区運動会、各種スポーツ大会、講演会、研修旅行、総会・役員会など	(各市民センター) ・地域活動が円滑に行われるよう、支会、自主防災組織等各種団体の事務局として、また、地域に密着した施設として、活動の支援および会議等の会場、備品、用具の提供などの面での地域活動発展へ支援体制を整えた。 ・地区運動会等の地域行事および各団体の総会、役員会開催のほか、高齢者団体等の地域活動への積極的な支援を継続した。 (小曾木C) 気軽に参加・体験型イベントの小曾木スポレクフェスタ(10月13日、約319人参加)を開催した。	○	市民センター

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(1) 地域 コミュニ ティ活 動への 支援	117	環境美化大会	ごみ減量を中心に、市の環境衛生美化推進のため、環境衛生・美化善行者、団体等への表彰と講演会を行い、地域における市民活動を支援します。	環境美化委員をはじめ参加者90人。環境美化指導員特別永年功労者5人。環境美化指導員永年功労者7人。環境衛生・美化善行者、優良団体等3団体。資源回収活動に尽力のあった団体3団体の表彰を行った。	○	清掃リサイクル課
	118	資源回収の奨励	自治会、子ども会等の地域活動の一環として、資源のリサイクルの必要性を認識し、リサイクルの促進に取り組み、ごみ減量を図ります。	153団体が実施。資源回収量は2,289,483kg。報償金26,216,339円、特別報償金2,860,873円を交付した。	○	清掃リサイクル課
	119	芸術文化祭	青梅市文化団体連盟との共催により、市民の日ごろの学習成果発表の場として、各参加団体の舞台発表や作品展示等の芸術文化祭を開催します。	期間：10/12～11/17 参加団体：20団体 観覧者（参加者含む）：4,783人 地域住民の文化活動の発表、展示の場として、総合文化祭を実施し、文化活動の発展に寄与する。	○	社会教育課
	120	クリーン活動	青梅大祭後の青梅の町を清掃します。生徒会を中心に、ボランティアを募って実施します。生徒の自主参加による活動です。	青梅大祭翌日の5月4日(土)、生徒38名と教職員11名でクリーン活動に取り組んだ。実行委員会から割り当てられた場所である青梅駅前ロータリー周辺を約1時間にわたってごみ拾いした。次年度もボランティア活動の更なる活性化を図り、より一層多くの生徒が参加できるようにしたい。	◎	青梅市立第一中学校
	121	多摩川1万人清掃活動	P T Aを中心に、生徒に呼びかけて「多摩川1万人清掃」への自主参加を促し、清掃活動を行います。	8月4日(日)、生徒10名と教職員4名が参加した。釜の淵河川敷を約1時間にわたってごみ拾いした。次年度もボランティア活動の更なる活性化を図り、より一層多くの生徒が参加できるようにしたい。	○	青梅市立第一中学校
122	地域清掃	各自治会主催の黒沢川清掃に参加することで郷土への愛着や良好な環境を保つことへの意識を高めます。	教職員も多数参加し地域との協働を図りました。生徒が参加しにくい日程であるため、今後調整が必要と地考えます。	○	青梅市立第六中学校	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(2) 地域人材の育成と活用	123	防災リーダーの育成	自主防災組織の主体的な活動の要となる防災リーダーについて、計画的な育成を図ります。	昨年に引き続き、7月に防災士情報連絡会を実施し、これまでの防災士としての活動内容の発表や、防災士同士のディスカッションを行い、防災士同士の情報共有や交流を深めた。 また、3月には外部講師を迎え、防災リーダー講習会（外部講師による講演、応急救護訓練）を実施し、知識と技術を習得した。 次年度以降も、連絡会および講習会により防災リーダーの育成を図っていく。	○	防災課
	124	子ども会ジュニアリーダー講習会	子ども会の最上級生となる小学校6年生を対象に、子ども会リーダーのあり方や行事計画の立て方、ゲーム指導などの講習会を行い、下級生の面倒を見ながら、子ども会活動ができるようにします。	・（東青梅C）青少年委員の協力のもと青少年の指導育成事業として「そなエリア東青梅2024」を実施し、26名の参加があった。 ・（新町C）青少年委員の協力のもと青少年の指導育成事業として「ジュニアリーダー講習会」を実施し、13名の参加があった。	○	市民センター
	125	子ども会育成指導者講習会	子ども会育成会役員などを対象に、子ども会活動のあり方や運営のポイント、レクリエーションのポイント等について研修会を行い、地域子ども会活動の活性化を図ります。	実施なし。	—	市民センター
	126	地域の特性を生かした事業	各市民センターにおいて、その地域の特性を生かした講座・教室などを実施します。	（青梅C） ・地域に関する展示「青梅のまちと観光と青梅緑」を開催し、地域人材の協力によりギャラリートークを実施した。（11/23および24、延べ196人参加） （長淵C） ・地域人材を活用して「親子マジック体験教室」を開催した。（8/24、12/7、のべ27人参加） （大門C） ・「ハーブ教室」「素敵なお庭造り教室」「クリスマスリース教室」「苔玉作り教室」「地域散歩」を開催した。（5/18、6/6、11/7、12/7、2/26、3/15 延べ80人） （梅郷C） ・「梅郷ほたるウォッチング」の開催を予定し、梅の公園で蛍を鑑賞する予定だったが大雨のため中止した。（予定日6/28） ・「梅郷子ふれあい塾」を開催し、梅郷地区の青少年紙飛行機の作成とポッチャの体験教室を行った。（9/28、27人参加） ・「健康教室やさしいヨガ教室」を開催した。（10/20、12人参加） ・「ふるさと探訪講演会」を開催した。（3/9、24人参加） （沢井C） ・地域の高齢者を含む65歳以上の市民を対象に「らくらく健康体操教室」を開催し軽度な運動による健康づくりに取り組んだ（開催回数19回、延べ575人参加）。 ・地域の歴史や自然にふれあうハイキング教室を実施した（開催回数1回、20人参加）。 ・女性ヨガ教室を実施した（開催回数2回、延べ26人参加）。 （小曾木C） ・地域人材を活用して「手打ちうどん・手打ちそば教室」を開催した。（7/5 10人、12/6、12人参加） ・小曾木地区の青少年による「ほたるふやしたい実行委員会」において、初夏のホタルの保護と啓発活動を行った。（5/11～9/14、5回、延べ53人参加） （小曾木C・成木C共催） ・成木Cにて「わくわく夏のチャレンジ」を開催した。（7/20 85人参加） （成木C） ・「ハイキング教室」を開催した。（開催回数2回、延べ30人参加） ・「クリスマス親子お菓子作り教室」を開催した。（開催回数1回、24人参加） ・「楽しい絵手紙教室」を開催した。（開催回数2回、延べ18人参加） （新町C） ・新町ウォーク（歴史講座）を開催し、新町の歴史散歩をした。（11/23、8人参加） ・新町ウォーク（野鳥講座）を開催し、新田山公園で野鳥観察をした。（2/9、18人参加） （河辺C） ・65歳以上の市民を対象に「のびのび健康体操教室」を開催した。参加人数：758人	○	市民センター

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(2) 地域人材の育成と活用	127	緑地管理ボランティア	緑地管理ボランティアを対象に公園・緑地等にて講習会を開催し、下草刈り等の緑地管理作業に必要な技術や知識を習得し、緑地の良好な環境を維持できる資質の向上を図ります。	<p>●令和6年度取組状況</p> <p>緑地管理ボランティアにより、永山公園内緑地および畑中戸山田公園で講習会を7回実施し延べ34名参加した。</p> <p>また、緑地管理ボランティアの意見交換を3月に実施した。</p> <p>次の事業に参加した。</p> <p>①「大塚山いこいの森ボランティア」における「樹名板の設置」および「ネイチャークラフト教室（自然の素材を使った工作体験）」の開催補助</p> <p>1月18日（土） 大塚山いこいの森広場および青梅市立第四小学校体育館</p> <p>5名参加</p> <p>●次年度目標</p> <p>猛暑および寒冷期を避けた月1回ペースにて活動を実施する。</p>	○	公園緑地課
	128	介護予防リーダー養成講座	高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、自立した生活を送るために、介護予防について基本的な知識を身につけ、自分や家族、地域のために体操などを行う介護予防リーダーを養成します。	<p>介護予防リーダー養成のための取り組みを下記のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防リーダー養成講座 全6回2クール 26人（延べ141人） ・介護予防リーダーフォローアップ講座 全10回（延べ290人） ・介護予防リーダー交流会 全4回 61人 <p>委託事業者：医療法人社団和風会</p> <p>次年度についても事業を継続する。</p>	○	高齢者支援課
	129	シルバーマイスター制度	優れた技能、知識、経験等を有する高齢者をシルバーマイスターとして認定・登録し、市民の学習活動の講師や指導者として推薦します。（対象：65歳以上の方）	<p>マイスター認定者 18名</p> <p>令和6年度認定者 1名</p> <p>活動内容： 地域サロンにおいて、シルバーマイスターによるイベントを開催した。</p> <p>次年度についても、引き続きシルバーマイスターの拡充に努めるとともに、より多くのシルバーマイスターの技能を披露する機会を提供していきたい。</p>	○	高齢者支援課
	130	合同企業説明会 in 青梅	地元で働きたい就活生と地元企業との出会いの場をつくり、将来のことをより深く考えるきっかけづくりの場の提供をします。	<p>・令和6年6月4日に令和7年3月卒業見込の学生を対象に市内企業を中心とした合同企業説明会を実施した。</p>	○	商工業振興課・青梅商工会議所
	131	吹上しょうぶ公園・梅の公園ガイドボランティア	花しょうぶまつり・梅まつりの期間中に、市民によるボランティアの協力を得て、園内のガイドをしていただくとともに、自然に親しみ、人とのふれあいの場を提供するため、ガイドの募集・講習会を行います。	<p>・吹上花しょうぶまつり 吹上花しょうぶ公園ガイドボランティア</p> <p>(1)打合せ会を4月12日</p> <p>(2)講習会を5月17日、20日、24日、6月14日に実施した。</p> <p>(3)株分け講習会を7月22日、23日</p> <p>(4)広報にてガイドボランティアの募集を行った。</p> <p>次年度も継続してガイドボランティアの募集および実施をする。</p> <p>・吉野梅郷梅まつり 梅の公園ガイドボランティア</p> <p>(1)打合せ会を11月20日に実施した。</p> <p>(2)講習会を2月5日、10日、26日に実施した。</p> <p>(3)広報にてガイドボランティアの募集を行った。</p> <p>次年度も継続してガイドボランティアの募集および実施をする。</p>	○	シティプロモーション課
	132	青少年リーダー育成研修会事業	小学5年生から高校3年生までを対象に、異年齢集団による団体活動を通じて、自主性や社会性を養い、リーダーとしての資質の向上を図ります。	<p>6月18日～8月27日 全6回</p> <p>市役所、S&Dたまぐーセンター、長洲市民センター、壺草苑、御岳山、国立妙高青少年自然の家</p> <p>延べ参加人数 201人</p> <p>今後は、更なる自主性・社会性の養育に繋がる研修会の実施に努める。</p>	○	社会教育課
133	講師・指導者およびボランティア協力者・協力団体内材登録制度	地域の人材を発掘し、身に付けた知識・技術などを広げていくため、人材登録制度を実施し、地域の教育力の向上を図ります。活用を促進するため、ホームページに掲載します。	<p>教育委員会ホームページおよび窓口等にて情報提供した。</p> <p>個人 文化系 24人 体育系 6人</p> <p>団体 文化系 1団体</p> <p>地域の人材発掘のため広報による制度周知、募集等を行っていく。</p>	○	社会教育課	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(2) 地域人材の育成と活用	134	芸術文化奨励賞	青梅市の芸術文化の発展を願って、地域で活動されている芸術家の方を発掘し、表彰します。	<ul style="list-style-type: none"> ・高野 美心（書道） 第64回全国書道展文部科学大臣賞受賞 ・高野 心真（書道） 第53回大阪梅風会全国書き初め展覧会大阪府知事賞受賞 ・中村 陽歩（書道） 第12回全国書写書道総合大会令和5年度全国学生書写書道展文部科学大臣賞受賞 ・関口 美夢（書道） 第12回全国書写書道総合大会令和5年度全国学生書写書道展名誉大賞受賞 ・青梅市立第三中学校吹奏楽部（音楽） 第23回東日本吹奏楽大会中学生の部銀賞 ・ぶらむりコーダーアンサンブル（音楽） 第45回全日本リコーダーコンテスト一般五重奏以上の部で金賞受賞 ・青梅市立泉中学校吹奏楽部（音楽） 第29回日本管楽合奏コンテスト全国大会優秀賞受賞 ・青梅市立第二中学校吹奏楽部（音楽） 第29回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校S部門最優秀賞受賞 ・青梅市立第六中学校吹奏楽部（音楽） 第29回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校S部門最優秀賞受賞 ・青梅市立吹上中学校吹奏楽部（音楽） 第29回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校S部門最優秀賞受賞 <p>今後も芸術・文化活動に業績を上げた対象者の表彰を行っていく。</p>	○	社会教育課
	135	おはなし学習会	おはなし（ストーリーテリング）の初心者で、市内でおはなしの活動をされたい方、または行っている方を対象に、実践を含めた勉強会を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・初級おはなし学習会（活動予定者） 5月23日～12月19日 7回 延べ参加人数33人 7年度は、初級おはなし学習会を継続し、更に技術の向上を図りたい。 	○	社会教育課
	136	絵本のべんきょう会	市内でおはなしの活動をされたい方、または行っている方を対象に、絵本の読み聞かせの実践を含めた勉強会を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本のべんきょう会 5月24日～3月14日 6回 延べ参加人数70人 7年度は、絵本のべんきょう会を継続し、更に技術の向上を図りたい。 	○	社会教育課
	137	スポーツ推進委員研修	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、各種研修会を実施するとともに、東京都スポーツ推進委員協議会等が主催する研修への参加を促します。	<ul style="list-style-type: none"> 研修参加回数 5回 6月15日 ニュースポーツ研修会 6月29日 ボッチャサポーター養成講習会 8月24日 広域地区別研修会「第7ブロック」 12月14日 実務研修会 2月 1日 地域スポーツ支援研修会「市町村部」 	○	スポーツ推進課

4 「学習情報発信と学習相談の充実」

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
（1） 学習情報の発信	138	「広報おうめ」への行政情報等掲載	月2回発行する「広報おうめ」に行政情報等を掲載します。	毎月1日、15日を発行日とし、24回発行した。市政情報等のほか、市民に焦点を当てた特集や市民団体が開催するイベント・会員募集などについても掲載した。引き続き、市政情報ははじめとする情報発信を行ってゆく。	○	秘書広報課
	139	市ホームページへの行政情報等掲載	市ホームページに行政情報等を掲載します。	ホームページにより市政のあらゆる情報を掲載し、市民に必要な情報発信を行った。次年度は、トップページのデザインをリニューアルし、より情報を探しやすい、市の魅力が伝わる情報発信に努める。	○	秘書広報課
	140	ジェンダー平等情報紙	市民の関心と理解を深めるため、ジェンダー平等情報紙「よつばの手紙」を年2回発行します。	市民等へのジェンダー平等の意識啓発のため、ジェンダー平等情報紙「よつばの手紙」を10月と3月にそれぞれ6,000部発行し、自治会の回覧および公共施設等へ配布した。	○	市民安全課
	141	土砂災害ハザードマップの作成	土砂災害警戒区域の二巡目調査結果を反映した土砂災害ハザードマップを作成・公開し、危険区域の住民周知を行うとともに、土砂災害対応訓練や出前講座等の機会を捉えて、市民の防災意識の高揚と知識の習熟を図ります。	ハザードマップや危険区域については、地区の防災訓練への参加や出前講座を通して周知を図った。 令和6年度の土砂災害対応訓練は、新町地区で実施し、市民（自主防災組織）の防災知識の高揚を図ることができた。 次年度は、出前講座を実施するほか、成木地区で土砂災害水防訓練を実施し、市民（自主防災組織）の防災意識の向上を図る。	○	防災課
	142	市民センターだよりの発行	市民センターで開催される事業や地域の色々な行事などの話題をお知らせします。	・支会や自治会の行事を青梅市自治会連合会ホームページに掲載し、情報発信を行った。（各市民センター） ・センターだよりを発行し、市民センター行事や支会行事情報の周知に努めた。（各市民センター）	○	市民センター
	143	西多摩地区の小学生による『税を考える週間』書道展	租税教育の一環として行う西多摩地区税務協議会主催の事業で、西多摩地区（青梅税務署管内）の小学校5・6年生を対象に書道作品を募集し、優秀な作品を表彰します。また、入賞作品はイオンモール日の出、青梅合同庁舎等に展示します。	青梅税務署管内小学5・6年生から3,368点の応募があった。なお、青梅市からは16校756点の応募があり、特選6点、準特選3点、金賞7点、銀賞9点、銅賞10点、佳作42点の計77点が入賞した。 また、特選入賞者に対しては、イオンモール日の出イオンホールにて表彰を行い、準特選以下の入賞作品とともに下記の日程で展示した。 ・11月8日～10日 イオンモール日の出イオンホール ・11月12日～15日 青梅合同庁舎 ・12月12日～26日 青梅市役所1階エントランスロビー 【次年度目標】 令和6年度同様に事業を実施することで、税に対する意識を高め、租税教育を推進する。	○	課税課
	144	生涯学習だよりの発行	市の各種教室、講座、講演会、イベントや市民グループ・団体および西多摩の関係施設の生涯学習情報をまとめて提供し、市民の学習活動を応援します。 年4回発行（4月・7月・10月・1月）	生涯学習だよりの部数を各回1,200部、年4回発行した。また、教育委員会と市のホームページにも掲載した。 市内の団体等からの情報を収集しながら発行していく。	○	社会教育課
	145	社会教育事業の学校への周知	市民センター等で実施する生涯学習事業を積極的に学校へ周知をします。	講座開催ごとに、小・中学校などにポスター・チラシを送付するほか、生涯学習だよりを配布して周知した。	○	社会教育課
	146	図書館報の発行	図書館の事業や新着図書を紹介する図書館報を発行します。	・図書館報 年6回発行 各回約120部作成 中央図書館・各分館で配布、ホームページへの掲載 7年度は、内容の充実を図りたい。	○	社会教育課
	147	ブックリストの配布	幼児、小学校（低・中・高学年別）および中・高等学校の児童・生徒に推薦図書リストを配布します。	・幼児向けブックリストを市内幼稚園、保育所を中心に1,140部配布した。 ・小学校（低・中・高学年）向けブックリストを市内の小学校を中心に2,842部配布した。 ・中高生向けブックリストを市内中学校および高等学校に1,080部配布した。 7年度は、ブックリスト配布を継続する。	○	社会教育課
148	分館図書館だよりの発行	新着図書を中心に、特集なども組んだりしながら、市民への推薦図書を楽しく紹介する、図書館だよりを発行します。	・分館図書館だよりに 毎月発行（年12回）・各回63部作成 中央図書館・各分館で配布、ホームページへの掲載 7年度は、内容の充実を図りたい。	○	社会教育課	

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(2) 学習相談の整備	149	生涯学習相談	青梅市に登録された講師・指導者等の人材情報や生涯学習施設、講座・催し物、学習グループ等の情報にもとづいて学習相談を受け、市民の学習意欲が活動につながる相談体制を構築します。	教育委員会ホームページにて情報提供するとともに、窓口や電話等による学習に関する相談を受けた。	○	社会教育課

5 「生涯学習推進体制の確立」

施策の方向	No.	事業名	事業内容	令和6年度の主な取組状況	担当課 評価	担当部署等
(1) 推進体制づくり	150	生涯学習推進本部	市長を本部長とする生涯学習推進本部（行政組織）で、生涯学習推進の目標・基本方針、推進計画を策定し、生涯学習推進施策を全庁的に進めます。	・生涯学習推進本部会議開催数 2回 第1回開催日 6月20日 第2回開催日 11月5日 内容 出前講座の実施状況、新緑祭の開催について、生涯学習関連物の発行について等	○	社会教育課
	151	生涯学習推進市民会議	学識経験者や生涯学習関係団体の代表者等からなる市民組織。市民の声を聴きながら、市と市民の協働で生涯学習推進施策を進めます。	・生涯学習推進市民会議開催数 3回 ・生涯学習推進市民会議企画講座 5講座 延べ参加人数 174人	○	社会教育課
(2) 支援体制づくり	152	市民企画講座の募集	市民ニーズに合った講座を生涯学習推進市民会議等から募集し、市内の施設で開催します。	・生涯学習推進市民会議企画講座 5講座 「英語で楽しむイスラエル料理」(19人) 「英語で料理教室」(43人) 「絵本の読み聞かせ&演劇ワークショップ」(23人) 「作業療法学生による認知症予防講座」(89人) 「福島の郷土料理『いか人蔘』に挑戦」(10人)	○	社会教育課
	153	アンケートの実施	講座や講演会の参加者にアンケートを実施し、市民の学習ニーズを把握します。	アンケート項目に今後参加したい内容を、過去のアンケートや実施内容から例を上げ、回答者が選択できるようにしたことにより、回答率が上がった。 アンケートの回答を講座や講演会のテーマ選びの参考とした。	○	社会教育課
	154	学習支援体制の構築	より多くの市民が学習機会を得ることができるよう、保育付きの教室や手話通訳者を配置するなど、学習支援体制の構築を推進します。	対面での講座、オンラインの講座それぞれの特性を生かした講座を行いたい。	○	社会教育課
	155	オンライン等の活用	ニーズに応じて、オンライン開催や対面でのハイブリッド開催などによる生涯学習活動を推進します。	全3回実施のパパママカレッジ～家庭教育講演会～では、オンライン形式やアーカイブ配信を活用した。	○	社会教育課

令和7年度

第七次青梅市生涯学習推進計画進捗状況報告書

(令和6年度分事業)

発行 青梅市生涯学習推進本部

編集 青梅市生涯学習推進本部事務局

青梅市教育委員会生涯学習部社会教育課

〒198-8701 青梅市東青梅1-11-1

